

石川県立歴史博物館

年 報

第 24 号
令和3年度

発行にあたって

令和3年度においては、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、博物館活動の一部が実施困難となりました。春季は県の緊急事態宣言発出を受け5月12日から6月14日まで常設展示室を休室し、また夏季は県の新型コロナウイルス感染症対策本部会議の決定を受け7月31日から9月30日まで臨時休館をいたしました。再開後も日本博物館協会の定めるガイドラインや石川県の方針にのっとり、入館者の人数制限や検温・消毒といった各種対策を講じました。展覧会については予定されていた3つの特別展のうち、春季特別展および秋季特別展は無事開催することができましたが、県の対策本部の決定をうけ夏季特別展は開幕後わずか9日間で臨時休館となり、令和4年度へ延期となりました。また春季・夏季特別展の関連イベントの多くが中止を余儀なくされました。

特別展を総覧すると、春季特別展「小原古邨—海をこえた花鳥の世界—」では金沢出身の絵師・小原古邨（1877～1945）に焦点を当て、古邨のルーツや古邨作品の海外受容の裏側を探りました。夏季特別展「大加州刀展」では古刀期から新々刀期までの加賀の地で打たれた刀剣を一堂に展示し、その歴史と魅力に迫りました。秋季特別展「徳川美術館展 尾張徳川家の至宝」では徳川美術館の名品を展示するとともに、卷子装への修復後館外初公開となる国宝「源氏物語絵巻」も期間限定で公開し、徳川美術館の魅力を余すところなく紹介しました。開催に際してご理解をいただいたご所蔵者をはじめ、関係各位にこの場を借りて厚くお礼申し上げます。

教育普及活動は昨年度に引き続き、職場体験を中止したほか、学校団体を中心に多くの利用者でにぎわう「歴史体験ひろば」も感染拡大防止の観点から閉室、これに伴いボランティアの活動も中止いたしました。こうした状況の中、公式Twitterによる博物館情報の発信に力を入れ、また展示解説を講義形式で行うなど、時勢に即した活動を実施いたしました。

ここに、令和3年度の年報を発行するにあたり、これまでご協力を賜りました関係各位に感謝申し上げますとともに、今後とも一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。

目 次

基本構想・利用案内	2	2. 職員名簿	47
I. 令和3年度の事業		3. 予算及び決算	47
1. 展示活動	3	4. 事務分掌	48
2. 調査研究活動	31	5. 各種委員会	49
3. 資料収集保存活動	32	6. 入場料について	50
4. 教育普及活動	36	IV. 関連条例・規則	
5. 入館者状況	41	1. 学校以外の教育機関等設置に関する条例	51
II. 施設概要		2. 石川県立歴史博物館管理規則	51
1. 設備概要	42	3. 石川県立歴史博物館使用料条例	54
2. 各棟室面積一覧	44	4. 石川県立歴史博物館使用料施行規則	54
3. 館内平面図	45	V. 日記（抄）	56
III. 組織と運営		VI. 各種書式	57
1. 職員組織	47		

I. 令和3年度の事業

1. 展示活動

(1) 常設展示

「石川県の歴史と文化」をテーマとした総合展示。実物資料のほかジオラマや模型、モニターや大型スクリーンによる映像、パネルなどを駆使し、分かりやすく紹介している。ポイントとなる模型や展示資料は4ヶ国語の音声ガイドによって解説を加え、学習効果を高めている。

第1展示室

[導入映像] (展示室入口)

現代から過去へ、映像がフラッシュバックしながら、各時代を代表する出来事を交えて石川の歴史を紹介。



導入映像

I 豊かな自然となりわい

狩猟採集から米作りへ

豊かな大地に育まれた太古の暮らしを探る

1 森と海に生きる縄文人

- 縄文人の祈りと造形
- 謎の巨大木柱
- 気候変動と狩りの変化
- よみがえる縄文犬
- 海のなりわい
- 森のなりわい
- 漆工芸のはじまり

2 米作りと農耕社会の成立

- 水田稲作の伝来
- 弥生集落の風景
- 倭国大乱の時代
- 玉作りと鉄器の流通



「よみがえる縄文犬」
復元品

II 日本海を行き交う人びと

東アジアに広がる交流、日本海が醸し出す文化 加賀・能登の国の始まりを見つめる

1 日本海交流と東アジア

- 古墳の出現
- 加賀・能登の古墳と豪族
- 須曾蝦夷穴古墳と渡来文化
- 東アジアとの交流
- 渤海使と古代の湊
- 海を渡ってきたモノたち



蝦夷穴古墳模型

2 能登国・加賀国の誕生

- 律令制と地域史社会
- 加賀郡榜示札と農民の暮らし



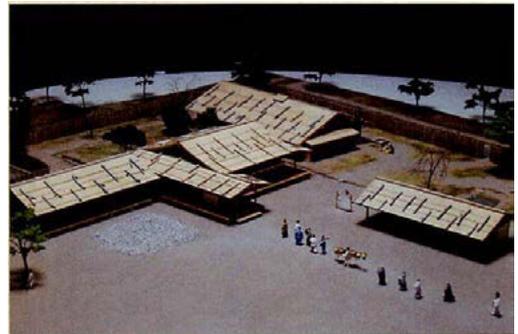
古代の御触書「加賀郡榜示札」

III 武士と一揆

武家政権の成立から加賀の一向一揆へ
くり返される戦乱の時代を生きた人びとの姿に迫る

1 武士の世へ

- 源平争乱と白山宮
- 堅田館跡
- 荘園と海のネットワーク
- 荘園のひろがり
- 珠洲焼



「堅田館－鎌倉時代の
加賀有力武士の館」模型

2 信仰の世界

- | | | |
|-------------|--------|-------|
| ■ 加賀・能登の神と仏 | ■ 白山信仰 | ■ 石動山 |
| ■ 新仏教の受容と展開 | ■ 禅宗 | ■ 日蓮宗 |
| ■ 時宗 | | |

3 一揆の時代

- | | | |
|--------------|-----------|--------------|
| ■ 能登島山氏と七尾 | ■ 能登島山氏 | ■ 七尾城下の繁栄 |
| ■ 戦国末期の能登情勢 | ■ 百姓ノ持タル国 | ■ 真宗のおこり |
| ■ 加賀の一向一揆百年 | ■ 長享の一揆 | ■ 金沢御堂と寺内町 |
| ■ 大坂本願寺合戦と北陸 | ■ 一向一揆の終局 | ■ 古文書にふれてみよう |

IV 加賀藩の政治と文化

戦国の世から前田家の治世へ
安定した社会の中で育まれた文化、生活の諸相をひもとく

- 天下人の時代

1 加賀藩の成立

- 加賀前田家と江戸幕府
- 藩士の身分
- 改作法と村御印
- 学問と教育
- 金沢城



「大名行列が行く」大型パネル

2 加賀藩政の展開

- 城下町金沢
- 金沢町人の暮らしと文化
- 北前船と加賀・能登

3 幕末の加賀藩

- 藩財政の立て直し
- 村々の生活
- 飢饉と災害
- 海防と銃卒
- 幕末の混乱と加賀藩



城下町金沢の暮らしと町並み模型

第2 展示室

V 近代国家と石川県

石川県の誕生、そして激動の時代へ
近代化の道のりと人びとの生活の変化をたどる

[近現代導入映像] (展示室入口)

1 武士の近代

- 石川県の誕生
- 「百万石」の武士から士族へ
- 紀尾井町事件
- 屯田兵と前田村

2 「美術工業」の時代

- 銅器会社と田中孫平
- 輸出工業
- 吉之助と米次郎
- 博覧会と博物館

3 日清・日露戦争と県民

- 日清戦争と兵士
- 日露戦争と県民
- ロシア軍捕虜の生活
- 北陸線と金沢駅
- 背囊を持ってみよう

4 特別名勝「兼六園」

5 デモクラシーとモダン

- 静かな米騒動
- 普通選挙と青年党
- モダニズムと大衆文化

6 戦争の時代と民衆

- 空襲をまぬがれた戦争
- 戦地と兵士
- 七七禁令と代用品
- 戦争と人びとの祈り
- 満蒙開拓の光と影

7 復興と成長の日々

- 占領・引揚・復興
- 内灘闘争
- 高度成長から安定成長の時代へ
- 戦後の住宅政策と石川県



紀尾井町事件映像



特別名勝「兼六園」模型

VI 加賀・能登の祭り

神と人がひとつになる厳粛な世界
心浮き立つ勇壮華麗な世界
祭り文化の多様性を見つめる

1 神と人の饗宴

○県内の特色ある祭り料理[神饌]をテーマに展示している。



神饌

◇一宮の神饌

■例大祭・夕御饌祭 ■平国祭

◇豊作への祈り

■ふきのと祭り ■もっそう祭り ■十七夜祭り ■いどり祭り
■おけら祭り

◇生贄伝説の世界

■如月祭 ■叩き堂祭り ■青柏祭 ■小串祭り
■春祭り ■大幡郷社祭り ■鯖踊り神事 ■弓引き祭り
■猿鬼の遺品

2 祭礼風流の世界

○曳山や鉾・屋台・造り物・練り物など華やかな出し物をテーマに祭礼遺産を更新しながら展示している。

◇いしかわの祭礼風流

■高松の長行灯 ■青柏祭
■金沢の曳山 ■近江町の大行灯
■お旅祭り ■華やかな祭礼練り物
■キリコ祭り ■加賀・能登の地芝居
■片町の絵行灯飾り ■先触れ面

◇城下の祭礼と興行

■ハレの飾り ■ハレのガイドブック
■幻の大祭 ■金沢の祭礼能
■祭礼と興行 ■踊り唄の出版
■百万石祭りの源流 ■金沢の獅子舞
■軍隊・学校・会社の祝祭

◇祭礼体感シアター



祭礼体感シアター

(2) その他の施設

第1棟 歴史発見館

1階 休憩室・姉妹館交流コーナー

当館と韓国国立全州博物館の姉妹館交流について紹介している。

2階 特別展示室

自主企画展示のほか、話題性のある魅力的な大型展示を開催する。

企画展示室

歴史博物館が所蔵する優品やコレクション、さらには常設展を補うテーマ性の高い内容を定期的に更新しながら展示する。

第2棟 交流体験館

1階 いしかわウェルカムラウンジ

総合案内・発券

ミュージアムショップ

歴史博物館のオリジナルグッズなどを販売する。



いしかわウェルカムラウンジ

建物 100 年ギャラリー

歴史博物館の建物である旧陸軍兵器庫兵器支廠について、建築当時やその後の保存修復などの写真を中心に、その歴史と重要文化財としての価値、魅力を紹介している。また、大きな窓ガラスからは、第3棟のレンガ壁や辰巳用水モニュメントを見渡すことができる。

兼六園周辺文化の森模型

兼六園周辺に多数ある文化施設の情報や見どころを紹介し、周辺への回遊を促す。また、兼六園周辺の空撮写真や古地図から、地域の変遷を学習することができる。



兼六園周辺文化の森模型

石川歴史・観光マップ（タッチモニター）

もっと知りたい石川クイズ、石川県の観光情報、石川県の文化財の3つのコンテンツを楽しむことができる。

なりきりショット

スクリーンに写しだされた絵画や古写真に画像に自身の顔を合成して、カメラで撮影して来館の記念にできる。

石川大パノラマ

大正～昭和前期にかけて全国各地の鳥瞰図を描いた吉田初三郎(1884～1955)が、石川県から依頼されて1933(昭和8)年に描いた「石川県鳥瞰図」を紹介。地図の中から21か所のポイントを選び、詳しい説明を加える。

1階 れきはくロビー

ミュージアムシアター

「城下町金沢を歩く」と題した映像番組を放映。加賀藩と城下町金沢の成立、城下町金沢の構造と特色、そして館蔵品の「金沢城下図屏風」をテーマとする。また、期間限定で特別展などに合わせた映像などを放映する。

ギャラリー

一般県民の展示活動に利用できる貸スペース。



ミュージアムシアター

2階 歴史体験ひろば・多目的ホール

実物資料や模型資料に直接触れ、また使ってみることによって、歴史の面白さを味わうことのできる体験コーナー。幼児から大人まで、幅広い年齢層が楽しむことができる。

また、多目的ホールとして、講演会やセミナー、ミニコンサートなどの行事を開催している。



歴史体験ひろば

〔主な体験メニュー〕

- ・昔の衣装体験－十二単の貴婦人、甲冑武士、武家のお姫様など
- ・昔の遊び体験－貝合わせ、盤双六、羽つきなど
- ・昔の乗り物で記念撮影－人力車、駕籠
- ・歴史資料に触れる体験－石器、土器、小判、十手など
- ・山の民家－囲炉裏、石臼、蓑笠、燭台など
- ・昔の学校－椅子、机、黒板、教科書、参考書など
- ・未就学児向け歴史体験(ひよこのひろば)－はにわボウリング、歴史まも当てなど

情報コーナー

歴史博物館の所蔵資料に関する情報（実物資料・文献資料・画像など）を提供。また、閲覧室や学習相談室としても活用することができる。

ワークショップルーム

実技講座をはじめ研究会・講習会・展示説明会など、幅広い年齢層の人びとが参加できる行事を開催している。

ほっとサロン

庭園の景色や建物の外観を眺めながら、ゆったりとくつろげる休憩コーナー。



ほっとサロン

*令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため「歴史体験ひろば」・「情報コーナー」は閉室した。

(3) 特別展

春季特別展
「小原古邨
—海をこえた花鳥の世界—」

金沢出身の絵師・小原古邨(1877～1945)。身近な自然が見せる一瞬の美をとらえた作品は、制作当時から海外で高い人気を誇り、近年国内でも注目を集めています。

本展では、浮世絵蒐集家・原安三郎のコレクションにかかる明治期の作品に加え、ご子孫が大切に保管されてきた大正・昭和期の作品もよりすぐり、その画業の全貌を紹介しました。あわせて古邨のルーツを物語る近代金沢の美術工芸品や師・鈴木華邨の作品、海外受容の様相を示す諸資料を展示しました。



チラシ

会 期 令和3年4月24日(土)～令和4年6月27日(日)
前期：4月24日(土)～5月23日(日) 後期：5月26日(水)～6月27日(日)

時 間 9:00～17:00(展示室への入室は16:30まで)

観 覧 料 一般1000(800)円 大学生・専門学校生800(640)円
高校生以下無料 ※()内は20名以上の団体料金/65歳以上の方は団体料金
リピーター割引：前期の有料チケット半券を後期にお持ちいただくと団体料金に割引

会 場 特別展示室 企画展示室

展示構成 序章 知られざる実像 小原古邨 / 第1章 生きとし生けるものへ 古邨時代 /
第2章 日々の暮らしのなかへ 祥邨・豊邨時代 / 第3章 古邨を育んだふるさと /
第4章 海をこえて 欧米をめぐる古邨の花鳥風月

催 物

記念講演会(聴講無料・要事前申込)

「小原古邨—光と雨の系譜を追って—」

日時：4月25日(日)13:30～15:00

講師：小池 満紀子 氏

(中外産業株式会社原安三郎コレクション担当
国際浮世絵学会常任理事)

会場：ワークショップルーム

聴講者：38名

※石川県の非常事態宣言を受け、①②は中止。

講師：当館学芸員

会場：ワークショップルーム

聴講者：③：40名 ④：31名 ⑤：22名

ワークショップ I 「古邨シールを使って花鳥画を描いてみよう」(参加無料・要事前申込)

日時：5月1日(土)～5月5日(水)

各日13:30～15:00

※石川県の非常事態宣言を受け、全日中止。

講師：当館学芸員

会場：ワークショップルーム

特別展のみどころ解説(要特別展チケット・要事前申込)

日時：①5月9日(日) 13:30～14:30

②5月16日(日) 13:30～14:30

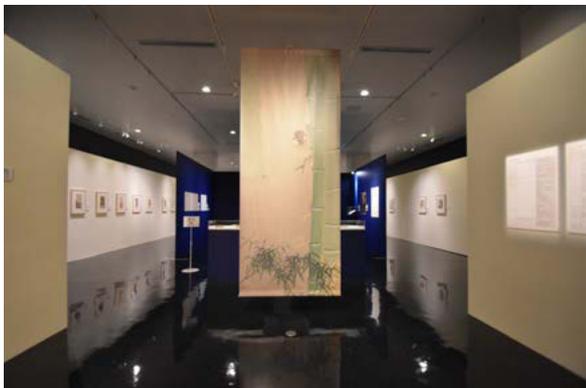
③6月20日(日) 13:30～14:30

④6月27日(日) 13:30～14:30

⑤6月19日(土) 13:30～14:30

ワークショップ II 「紙版画（紙ドライポイント）に
チャレンジしてみよう」（参加無料・要事前申込）
日時：6月5日（土） 第1回：10：00～12：00、第
2回：13：30～15：30

※石川県の非常事態宣言を受け、全日中止。
講師：岩瀬貴憲氏（金沢湯涌創作の森 版画工房）
会場：ワークショップルーム



展示風景



展示風景



展示風景



記念講演会



展示風景



みどころ解説

出品・展示替え予定表

会場：石川県立歴史博物館 特別展示室・企画展示室
 主催：石川県立歴史博物館・北國新聞社
 特別協力：中外産業株式会社 後援：NHK金沢放送局

※グレーの部分が展示期間です。番号はカタログ番号であり、
 展示順とは一致しません。

※都合により展示品・展示期間が変更になる場合があります。

※所蔵者の「中外産業株式会社 原安三郎コレクション」は
 リスト上では「原安三郎コレクション」と略してあります。



作品番号	作品名	作者・筆者	時代	所蔵者	展示期間 前期4/24-5/23 後期5/26-6/27	
序章 知られざる実像 小原古邨						
pro.001	小原古邨(祥邨)肖像写真【複製】		1930	渡邊木版美術画舗	通期	
pro.002	先祖由緒井一類附帳	小原為則	1863	金沢市立玉川図書館	通期	
pro.003	第九回絵画共進会 日本美術院展覧会 出品目録【複製】	高木源四郎 編	1900	国立国会図書館	通期	
pro.004	JAPANESE PICTORIAL ART 日本絵画展 目録【複製】	アメリカン・アート・アソシエーション 編	1901.4		通期	
pro.005	花鳥画帖	小原古邨	1901.8	国立国会図書館	前期	
pro.006	波巖を嚼む図/難破船の図	小原古邨	1903.7	個人	通期	
pro.007	木菟	小原古邨	c.1900	原安三郎コレクション	通期	
第1章 生きとし生けるものへ 古邨時代						
1-001	月に白梅とつがいの真鴨	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション	前期	
1-002	紅梅に鸞	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション		後期
1-003	木蓮に四十雀	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション	前期	
1-004	桃の花に鸚鵡	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション		後期
1-005	枝垂れ桜に扇鶴	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション	前期	
1-006	枝垂れ桜に燕	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション		後期
1-007	鶏の親子と蝶	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション	前期	
1-008	三羽の鳩	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション		後期
1-009	桜につがいの孔雀	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション	前期	
1-010	菜の花につがいの七面鳥	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション		後期
1-011	争う黄鶺鴒	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション	前期	
1-012	桜吹雪に子猿	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション		後期
1-013	竹に猿と蜂	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション	前期	
1-014	戯れる子犬	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション		後期
1-015	竹に雀	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション		後期
1-016	葉桜に山鳥	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション	前期	
1-017	青楓に懸巢	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション	前期	
1-018	青楓に四十雀	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション		後期
1-019	牡丹に燕	小原古邨	c.1908	原安三郎コレクション	前期	
1-020	藤に金魚	小原古邨	c.1904	原安三郎コレクション		後期
1-021	花菖蒲に鶺鴒	小原古邨	c.1911	原安三郎コレクション	前期	
1-022	花菖蒲に蜂	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション		後期
1-023	雨中の青楓に文鳥	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション	前期	
1-024	雨中の柳に鷺	小原古邨	c.1907	原安三郎コレクション		後期
1-025	水辺の鶺鴒	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション	前期	
1-026	水辺の小鶺鴒	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション		後期
1-027	雨中の五位鶺鴒	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション	前期	
1-028	雨中の小鶺鴒	小原古邨	c.1909	原安三郎コレクション		後期
1-029	雨中の桐に雀	小原古邨	c.1913	原安三郎コレクション	前期	
1-030	雨中の笹に蝸牛	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション		後期
1-031	芥子に金糸雀	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション	前期	
1-032	紫陽花に雀	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション		後期
1-033	目高を狙う翡翠	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション	前期	
1-034	撫子に鶺鴒	小原古邨	c.1908	原安三郎コレクション		後期

1-035	麦に鶉と蝶	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション	前期	
1-036	芙蓉に野鶉と虫	小原古邨	c.1908	原安三郎コレクション		後期
1-037	芭蕉に鶉の親子	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション	前期	
1-038	瀧に背黒鶉	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション		後期
1-039	鹿の子百合に紋白蝶	小原古邨	c.1904	原安三郎コレクション	前期	
1-040	百合に揚羽蝶	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション		後期
1-041	朝顔に蠶螂と蜂	小原古邨	c.1904	原安三郎コレクション		後期
1-042	蓮に雀	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション	前期	
1-043	蓮に蛙	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション	前期	
1-044	檜扇に田雲雀	小原古邨	c.1908	原安三郎コレクション		後期
1-045	凌霄花に大瑠璃と蜘蛛	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション	前期	
1-046	向日葵に紋黄蝶	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション		後期
1-047	柳に油蟬	小原古邨	c.1908	原安三郎コレクション	前期	
1-048	雨中の秋海棠に鳥影	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション		後期
1-049	立葵に蜂	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション	前期	
1-050	天糸瓜に嚙虫	小原古邨	c.1908	原安三郎コレクション		後期
1-051	波に燕	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション	前期	
1-052	海上の鷗	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション		後期
1-053	露草につがいの鶉	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション	前期	
1-054	野菊につがいの鴛鴦	小原古邨	c.1908	原安三郎コレクション		後期
1-055	萩に山雀	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション	前期	
1-056	紅葉鳥に四十雀	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション		後期
1-057	梧桐に緑啄木鳥	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション	前期	
1-058	猿と蜂	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション		後期
1-059	雨中につがいの雉	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション	前期	
1-060	秋草に雉	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション		後期
1-061	三日月に公孫樹と木菟	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション	前期	
1-062	木菟と雀	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション		後期
1-063	柿に目白	小原古邨	c.1908	原安三郎コレクション	前期	
1-064	菊	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション		後期
1-065	稲穂に蝗	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション	前期	
1-066	月に秋草と飛蝗	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション		後期
1-067	鉦豆に野鶉	小原古邨	c.1908	原安三郎コレクション	前期	
1-068	月に鉦豆と蠶螂	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション		後期
1-069	月に秋草	小原古邨	c.1908	原安三郎コレクション	前期	
1-070	月につがいの真鴨	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション		後期
1-071	月に雁	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション	前期	
1-072	月に雁	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション		後期
1-073	酸実に緋連雀	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション	前期	
1-074	酸実に緋連雀	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション		後期
1-075	秋草に百舌鳥	小原古邨	c.1913	原安三郎コレクション	前期	
1-076	蜘蛛を狙う百舌鳥	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション		後期
1-077	雨中の枇杷に茅潜	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション	前期	
1-078	雨中の小鷺	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション		後期
1-079	雨中の田鶉	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション	前期	
1-080	水辺の田鶉	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション		後期
1-081	水辺の千鳥	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション	前期	
1-082	水辺の支那鷺鳥	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション		後期
1-083	葦につがいの真鴨	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション	前期	
1-084	枯葦に田鳧	小原古邨	c.1908	原安三郎コレクション		後期
1-085	崖上の鹿	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション	前期	
1-086	咆哮の虎	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション		後期
1-087	小鳥を狙う大鷲	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション		後期
1-088	大鷹と温め鳥	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション	前期	
1-089	月につがいの真鴨	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション	前期	
1-090	孔雀の羽に白鼠	小原古邨	c.1911	原安三郎コレクション		後期
1-091	雪につがいの鴛鴦	小原古邨	c.1911	原安三郎コレクション	前期	
1-092	雪中の松に鶯	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション		後期

1-093	雪中の梅に黄連雀	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション	前期	
1-094	菫田いと水仙に茅潜	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション		後期
1-095	有明月に鶉	小原古邨	c.1905	原安三郎コレクション	前期	
1-096	雨中の公孫樹に鳩	小原古邨	c.1905	原安三郎コレクション		後期
1-097	樹上の青鷺	小原古邨	c.1905	原安三郎コレクション		後期
1-098	雪に真鴨	小原古邨	c.1905	原安三郎コレクション		後期
1-099	柳に星五位	小原古邨	1900-18	原安三郎コレクション	前期	
1-100	雪に四十雀	小原古邨	1900-18	原安三郎コレクション		後期
1-101	雨中の袖に鶉	小原古邨	1900-18	原安三郎コレクション		後期
1-102	青桐に尾長	小原古邨	1900-18	個人	前期	
1-103	緋連雀	小原古邨	1900-18	フジタ ジャパン プリンツ	前期	
1-104	柿に鳥	小原古邨	1900-18	個人	前期	

コラム よみがえる美術錦絵

H-1	蓮に雀 順序摺	摺：沼辺伸吉・広伸	2020	沼辺木版	通期	
H-2	蓮に雀 版木	彫：菅香世子	2020	沼辺木版	通期	

コラム 創作のひみつ

A-1	踊る狐	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション	前期	
A-2	踊る狐	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション	通期	
A-3	踊る狐	小原古邨	1904-13	個人		後期
A-4	踊る狐 試摺	小原古邨	1904-13	ギャラリーそうめい堂	前期	
A-5	踊る狐 版下絵作成資料		2020		通期	
A-7	百合に黒揚羽 版下	小原古邨	1904-13	ギャラリーそうめい堂	前期	
A-8	鷺	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション	前期	
A-9	鷺 原画	小原古邨	1904-13	ギャラリーそうめい堂	前期	
A-10	雪の柳に鳥	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション	前期	
A-11	雪の柳に鳥	小原古邨	1904-13	フジタ ジャパン プリンツ	前期	
A-12	有明月に木菟	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション		後期
A-13	有明月に木菟	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション		後期
A-14	柳に燕 原画	小原祥邨	1919-26	小原英樹		後期
A-15	芦に鷺 (三ヶ月)	小原祥邨	1926	渡邊木版美術画舗		後期
A-16	芦に鷺 (三ヶ月) 原画	小原祥邨	1926	渡邊木版美術画舗		後期

第2章 日々の暮らしのなかへ 祥邨・豊邨時代

2-001	雪中鷺	小原祥邨	1919-26	小原英樹	前期	
2-002	雪中鷺	小原祥邨	1919-26	小原英樹		後期
2-003	鶉	小原祥邨	1919-26	小原英樹	前期	
2-004	卯の花に時鳥	小原祥邨	1919-26	小原英樹		後期
2-005	飛カラス	小原祥邨	1919-26	小原英樹	前期	
2-006	蛭	小原祥邨	1919-26	小原英樹	前期	
2-007	牡丹に蝶	小原祥邨	1919-26	小原英樹		後期
2-008	椿に四十雀	小原祥邨	1919-26	小原英樹	前期	
2-009	五位鷺	小原祥邨	1919-26	小原英樹		後期
2-010	月に雁	小原祥邨	1919-26	小原英樹		後期
2-011	夕立に大鷺	小原祥邨	1919-26	小原英樹	前期	
2-012	水蓮にとんぼ	小原祥邨	1919-26	小原英樹		後期
2-013	枯蓮に鶉	小原祥邨	1919-26	小原英樹	前期	
2-014	柳に蟬	小原祥邨	1919-26	小原英樹		後期
2-015	藤花に文鳥	小原祥邨	1919-26	小原英樹	前期	
2-016	月夜の鶉	小原祥邨	1919-26	小原英樹		後期
2-017	緋鯉	小原祥邨	1919-26	小原英樹	前期	
2-018	水辺の鹿	小原祥邨	1919-26	小原英樹		後期
2-019	雁	小原祥邨	1926	小原英樹	前期	
2-020	鷺鳥	小原祥邨	1927	小原英樹		後期
2-021	波に千鳥	小原祥邨	1926	小原英樹	前期	
2-022	雪中群鷺	小原祥邨	1927	小原英樹		後期
2-023	椿に白文鳥	小原祥邨	1929	小原英樹	前期	
2-024	水中の白鳥	小原祥邨	1928	小原英樹		後期
2-025	芦に鷺鳥	小原祥邨	1928	小原英樹	前期	

2-026	桃花に雲雀	小原祥邨	1931	小原英樹		後期
2-027	菊花に流水	小原祥邨	1926-35	小原英樹	前期	
2-028	木蓮に尾長鳥	小原祥邨	1926-35	小原英樹		後期
2-029	朝顔	小原祥邨	1926-35	小原英樹	前期	
2-030	芙蓉に黄鶺鴒	小原祥邨	1926-35	小原英樹		後期
2-031	二羽のインコ	小原祥邨	1930	小原英樹	前期	
2-032	月夜の桜	小原祥邨	1926-35	小原英樹		後期
2-033	鶏頭の花	小原祥邨	1926-35	小原英樹	前期	
2-034	日之出に鶴	小原祥邨	1926-35	小原英樹		後期
2-035	飛鷺	小原祥邨	1926-35	小原英樹	前期	
2-036	桜花に鳩	小原祥邨	1926-35	小原英樹		後期
2-037	芥子の花	小原祥邨	1926-35	小原英樹	前期	
2-038	立蜀葵にトンボ	小原祥邨	1926-35	小原英樹		後期
2-039	臯月(植木鉢)	小原祥邨	1926-35	小原英樹	前期	
2-040	雪中飛鷹	小原祥邨	1926-35	小原英樹		後期
2-041	雨中二美人	小原祥邨	1927	小原英樹	前期	
2-042	花籠	小原祥邨	1926-35	小原英樹		後期
2-043	孔雀	小原祥邨	1926-35	小原英樹	前期	
2-044	孔雀	小原祥邨	1926-35	小原英樹		後期
2-045	鯉と緋鯉	小原祥邨	1935	小原英樹	前期	
2-046	富士山に桜花	小原祥邨	1934	小原英樹		後期
2-047	柿に猿	小原祥邨	1932	小原英樹	前期	
2-048	鯉に白水蓮	小原祥邨	1926-35	小原英樹		後期
2-049	鶏	小原祥邨	1926-35	小原英樹	前期	
2-050	鷺に三ヶ月	小原祥邨	1926-35	小原英樹		後期
2-051	栗に臯	小原祥邨	1932	小原英樹	前期	
2-052	花菖蒲	小原祥邨	1926-35	小原英樹		後期
2-053	柳に五位鷺	小原祥邨	1926-35	小原英樹	前期	
2-054	木版画目録	渡邊版画店 編	1935	小原英樹	通期	
2-055	青鷺	小原豊邨	1929-42	小原英樹	前期	
2-056	つがいの鸚鵡	小原豊邨	1929-42	小原英樹		後期
2-057	跳ねる鯉	小原豊邨	1929-42	小原英樹	前期	
2-058	狎と鶯	小原豊邨	1929-42	小原英樹		後期
2-059	鶏と鼈	小原豊邨	1929-42	小原英樹	前期	
2-060	蛙の相撲	小原豊邨	1929-42	小原英樹		後期
2-061	木蓮に九官鳥	小原豊邨	1929-42	小原英樹	前期	
2-062	木蓮に九官鳥 校合摺	小原豊邨	1929-42	小原英樹	前期	
2-063	燕の親子	小原豊邨	1929-42	小原英樹		後期
2-064	鉢植の躑躅	小原豊邨	1929-42	小原英樹		後期
2-065	鉢植の躑躅	小原豊邨	1929-42	小原英樹		後期
2-066	籠の中の果物	小原豊邨	1929-42	小原英樹	前期	
2-067	双鯉之図	小原祥邨	1943	小原英樹	通期	

コラム	個性を生かす					
B-1	葦に猫と蝶	小原古邨	c.1904	原安三郎コレクション	前期	
B-2	金魚鉢に猫	小原祥邨	1931	小原英樹	前期	
B-3	猫と提灯	小原豊邨	1929-42	小原英樹	前期	
B-4	月に吾亦紅と白兔	小原古邨	c.1908	原安三郎コレクション		後期
B-5	萩に兔	小原祥邨	1929	小原英樹		後期
B-6	月に兔	小原豊邨	1929-42	小原英樹		後期

第3章 古邨を育んだふるさと						
3-001	銅製葡萄栗鼠図洋灯	鈴木長吉	19C(明治前期)	金沢美術工芸大学	通期	
3-002	色絵藤に鶏図花器	沢田南久	19C(明治時代)	能美市九谷焼美術館 「五彩館」	通期	
3-003	友禅染軸・松に鳥		19C(幕末～明治初期)	石川県立歴史博物館	前期	
3-003	友禅染軸・梅に鳥図		19C(幕末～明治初期)	石川県立歴史博物館		後期

3-004	色絵朝顔仔猫図平鉢	九谷庄三	19C (幕末~明治初期)	能美市九谷焼美術館「五彩館」	通期	
参考資料	三体画譜	葛飾北斎	1815	金沢市立玉川図書館	通期	
参考資料	金沢九谷工業協同組合図書目録	金沢九谷工業協同組合 編	1911	金沢市立玉川図書館	通期	
3-005	諸名家花鳥画譜	福井月斎 編	1896	金沢市立玉川図書館	前期	
参考資料	諸大家花鳥画譜	福井月斎 編	1898	金沢市立玉川図書館		後期
3-006	煤嶺華鳥画譜	幸野煤嶺	1893	金沢市立玉川図書館	通期	
3-007	省亭花鳥画譜	渡邊省亭	1890	金沢市立玉川図書館	通期	
3-008	景年花鳥画譜 春之部	今尾景年	1892	金沢市立玉川図書館	4/24-5/9	
3-008	景年花鳥画譜 夏之部	今尾景年	1892	金沢市立玉川図書館	5/10-5/23	
3-008	景年花鳥画譜 秋之部	今尾景年	1892	金沢市立玉川図書館		5/26-6/13
3-008	景年花鳥画譜 冬之部	今尾景年	1892	金沢市立玉川図書館		6/14-6/27
3-009	花鳥図巻蓑具	石川県勸業場	1876-78	石川県立歴史博物館	前期	
3-010	赤絵切子形花入	綿埜商会	19-20C (明治時代)	石川県立歴史博物館		後期
3-011	第一回内国勸業博覧会賞牌		1877	(公財) 宗桂会	通期	
参考資料	第三回内国勸業博覧会賞牌		1890	(公財) 宗桂会	通期	
3-012	金銀象嵌草花文鳥籠置物	初代山川孝次	19C (明治時代)	石川県立美術館	通期	
3-013	鶉籠置物図面	山川孝次	19C (明治時代)	(公財) 宗桂会	通期	
3-014	金銀象嵌花虫文飾皿	二代山川孝次	19C (明治時代)	(公財) 宗桂会	通期	
3-015	草花図案	山川孝次	19-20C (明治時代)	(公財) 宗桂会	4/24-5/9	
3-015	草花図案	山川孝次	19-20C (明治時代)	(公財) 宗桂会	5/10-5/23	
3-016	金銀象嵌諫鼓型置物	二代山川孝次	19-20C (明治時代)	宗桂会		後期
3-017	銅器図案 (甲)	魁春堂	1895	金沢美術工芸大学		5/26-6/13
3-017	銅器図案 (乙)	魁春堂	1895	金沢美術工芸大学		6/14-6/27
3-018	金銀象嵌双兔図花瓶	水野源六	19C-20C (明治時代)	金沢美術工芸大学		後期
3-019	銅製鷹置物	山川孝次・水野源六	19C (明治前期)	金沢美術工芸大学	前期	
3-020	金銀象嵌雪に鷹図香炉	八代水野源六	19C (明治前期)	石川県立美術館	前期	
3-021	雪松に尾白鷺	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション	前期	
3-022	色絵松遊鯉図花瓶	石野龍山	20C (大正時代)	石川県立美術館		後期
3-023	二匹の鯉	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション		後期
3-024	鈴木華邨一門集合写真		1908	個人	通期	
3-025	写生帖	鈴木華邨	1891-92	個人	通期	
3-026	雑画帖	鈴木華邨旧藏品	c.1896	個人	通期	
3-027	花鳥図押絵貼屏風 右隻	鈴木華邨	1893	たちばな四季亭	前期	
3-027	花鳥図押絵貼屏風 左隻	鈴木華邨	1893	たちばな四季亭		後期
3-028	扇面貼交幅	納富介次郎・鈴木華邨・青山観水	c.1894	たちばな四季亭	通期	
3-029	雲松鶴夢	鈴木華邨	1890s (明治20年代)	個人	通期	
3-030	芭蕉に雀	鈴木華邨	19-20C (明治後期)	個人	前期	
3-031	芭蕉に雀	小原古邨	c1904	原安三郎コレクション	前期	
3-032	菊に雀	鈴木華邨	1890s (明治20年代)	たちばな四季亭		後期
3-033	薔薇に雀	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション		後期
3-034	稲双鶏・野笹兔 (右幅)	鈴木華邨	1890s (明治20年代)	たちばな四季亭	前期	
3-034	稲双鶏・野笹兔 (左幅)	鈴木華邨	1890s (明治20年代)	たちばな四季亭		後期
3-035	籠につがいの鶏	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション	前期	

3-036	<i>Sword and Blossom : Poems from the Japanese</i> 詩集 刀と桜	訳：チャロット・ピーク、木村 正太郎 画：三島蕉窓、鈴木華邨 他	1907-10	フジタ ジャパン プリンツ	通期	
3-037	<i>Images japonaises</i> 日本の面影	詩：エミール・ヴェルハーレン 画：鈴木華邨	1896	個人	前期	
3-038	蚯蚓を取り合うひよこ	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション	前期	
3-039	<i>The Wooden Bowl, Japanese Fairy Tale Series</i> 日本昔噺 鉢かつぎ	訳：ジェイムズ夫人 画：鈴木華邨	1934	フジタ ジャパン プリンツ		後期
3-040	鳴子に雀	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション		後期
3-041	三猿	小原古邨	19-20C (明治後期～大正)	石川近代文学館		後期

コラム 松木平吉と美術錦絵

D-1	東京新大橋雨中図	小林清親	1876	原安三郎コレクション	前期	
D-2	猫と提灯	小林清親	1877	渡邊木版美術画舗	前期	
D-3	朝顔	小林清親	1879	原安三郎コレクション		後期
D-4	不忍池畔雨中図	小林清親	c.1880	原安三郎コレクション		後期
D-5	皇都妙技美術錦絵帖 広告【複製】	四代目松木平吉	c.1890	東京都立図書館	通期	
D-6	椿に小鳥	歌川広重	1832-35	原安三郎コレクション	前期	
D-7	傘に鶏に朝顔	歌川広重	1829-35	原安三郎コレクション		後期
D-8	花鳥真画帖		1904-09	ギャラリーそうめい堂	通期	

第4章 海をこえて 欧米をめぐる古邨の花鳥風月

4-001	<i>Catalogue of Japanese artists' materials</i> 日本美術・画材目録 (1904年版) 【複製】	松木文恭 編	1904	Winterthur Museum Library (Printed Book and Periodical Collection)	通期	
4-002	つがいの鹿	小原古邨	c.1904	原安三郎コレクション	前期	
4-003	枝垂れ桜につがいの雉	小原古邨	c.1904	原安三郎コレクション		後期
4-004	兔を狙う大鷹	小原古邨	c.1904	原安三郎コレクション		後期
4-005	二羽の鶴	小原古邨	c.1904	原安三郎コレクション		後期
4-006	粟に河原鴉と蝗	小原古邨	c.1904	原安三郎コレクション	前期	
4-007	月に猿	小原古邨	c.1904	原安三郎コレクション	前期	
4-008	<i>Catalogue of Japanese artists' materials</i> 日本美術・画材目録 (1908年版) 【複製】	松木文恭 編	1908	Winterthur Museum Library (Printed Book and Periodical Collection)	通期	
4-009	雨中に三羽の雀	小原古邨	c.1908	原安三郎コレクション	前期	
4-010	菜の花に揚羽蝶	小原古邨	c.1908	原安三郎コレクション	前期	
4-011	竹に雀	小原古邨	c.1908	原安三郎コレクション		後期
4-012	夜雨に鷺	小原古邨	c.1908	原安三郎コレクション	前期	
4-013	公孫樹の落葉に鳩	小原古邨	c.1908	原安三郎コレクション		後期
4-014	月に鷺	小原古邨	c.1908	原安三郎コレクション	前期	
4-015	支那鷺鳥	小原古邨	c.1908	原安三郎コレクション		後期
4-016	竹に百舌鳥	小原古邨	c.1908	フジタ ジャパン プリンツ		後期
4-017	月に桜と鳥	小原古邨	c.1908	原安三郎コレクション	前期	
4-018	月に桜と鳥	小原古邨	c.1908	原安三郎コレクション		後期
4-019	<i>Moderator-Topics Vol.28</i> モデレーター・トピック記事【複製】	エミリア・ゴールズワーシー	1908.4	University of Michigan 写真提供：HathiTrust	前期	
4-020	三匹の鯉	小原古邨	c.1908	原安三郎コレクション	前期	
4-021	<i>JAPANESE WOOD-CUTS</i> 日本の木版画 広告カード	星野ケン	c.1907	個人		後期
4-022	雪につがいの山鳥	小原古邨	c.1907	原安三郎コレクション		後期
4-023	<i>Book of Wild Things</i> 生きものたちの本	ルーシー・リトルトン	1905-08	個人	通期	

4-024	<i>The Indianapolis Times</i> ザ・インディアナポリス・タイムズ記事 【複製】		1926.10.7		通期	
4-025	柳に白鷺	小原祥邨	1926	小原英樹	前期	
4-026	藤に燕	小原祥邨	1926	小原英樹	後期	
4-027	<i>Catalogue of a special exhibition of modern Japanese prints</i> 現代日本版画展目録		1930	国際交流基金ライブラリー	通期	
4-028	桜に木菟	小原祥邨	1926	渡邊木版美術画舗	前期	
4-029	雨中の鷺	小原祥邨	1928	渡邊木版美術画舗		後期
4-030	紫陽花に蜂	小原祥邨	1929	小原英樹		後期
4-031	雪中南天に瑠璃鳥	小原祥邨	1927	小原英樹	前期	
4-032	雪中の柳橋	小原祥邨	1929	渡邊木版美術画舗	前期	
4-033	<i>Nichibei Shinbun</i> 日米新聞【複製】		1930.1.22	Hoover Institution Library & Archives, Hoji Shinbun Digital Collection	通期	
4-034	<i>American Magazine of Art Vol. 21, No. 8</i> アメリカン・マガジン・オブ・アート		1930.8.1	武蔵野美術大学 美術館図書館	通期	
4-035	アーサー・マククリーン、ドロシー・ブレアより 小原又雄宛書簡		1930.12.3	小原英樹	通期	
4-036	シカゴ美術館より小原祥邨宛 「石版及木版国際展覧会」出品招待状 (1930年)		1930	小原英樹	前期	
4-036	シカゴ美術館より小原祥邨宛 「石版及木版国際展覧会」出品招待状 (1935年)		1935	小原英樹		後期
4-037	ポーランド公使と新版画の制作者 (池之端雨月荘、東京)【複製】		1934	渡邊木版美術画舗	通期	
4-038	鸚鵡に柘榴	小原祥邨	1927	小原英樹	前期	
4-039	柘榴にオーム	小原祥邨	1926-35	小原英樹		後期

コラム 松木文恭

E-1	<i>The Matsuki Collection Japanese Fine Arts</i> 松木コレクション 日本美術目録	松木文恭 編	1898	国際日本文化研究センター 図書館	通期	
E-2	<i>Dichtergrüsse aus dem Osten japanische Dichtungen</i> 東の国からの詩のご挨拶	訳：カール・フローレンツ 画：三島蕉窓、鈴木華邨 他	1894 初版	個人	通期	
E-4	<i>Lotus special holiday number in memoriam: James A. McNeill Whistler</i> 蓮 ホイッスラー追悼号	アーネスト・フェノロサ、 松木文恭 他	1903.12	実践女子大学図書館	通期	
E-5	<i>Matsuki Collection</i> 松木コレクション 目録	アメリカン・アート・ アソシエーション 編	1908	国際日本文化研究センター 図書館	通期	
参考資料	松木文恭 請求書 【複製】		1908	Winterthur Museum Library (Joseph Downs Collection of Manuscripts and Printed Ephemera)	通期	

コラム 小泉八雲

F-1	<i>A Japanese Miscellany</i> 日本雑録	ラフカディオ・ハーン (小泉八雲)	1901	個人	通期	
F-2	子供風俗 お山のお山のおごんさん	宮川春汀	1896	個人	通期	
F-3	<i>Japan: An Attempt at Interpretation</i> 神国日本	ラフカディオ・ハーン (小泉八雲)	1924	個人	通期	
F-4	雪の柳に鳥	小原古邨	1904-13	原安三郎コレクション	前期	
F-5	雪の柳に鳥	小原古邨	1904-13	個人		後期
F-6	ワトキン宛書簡 【複製】	ラフカディオ・ハーン (小泉八雲)	c.1877	新宿歴史博物館	通期	

コラム 渡邊庄三郎と新版画						
C-1	渡邊庄三郎、松木喜八郎とフレデリック・ゲーキンら（真間山弘法寺、千葉）【複製】		1925	渡邊木版美術画舗	通期	
C-2	生うつし四十八鷹 鶯 はな菖蒲	崇岳堂	1859	原安三郎コレクション	前期	
C-3	生うつし四十八鷹 千鳥 かれ芦	崇岳堂	1859	原安三郎コレクション		後期
C-4	黒猫を抱く女	フリッツ・カペラリー	1915	原安三郎コレクション	前期	
C-5	枯野の富士	フリッツ・カペラリー	1916	原安三郎コレクション		後期
C-6	牛堀	川瀬巴水	1930	石川県立美術館	前期	
C-7	巖島の雪	川瀬巴水	1932	石川県立美術館		後期
参考資料	浴後の女	橋口五葉	1920	石川県立美術館	前期	
参考資料	夏衣の女	橋口五葉	1920	石川県立美術館		後期

コラム 原安三郎						
G-1	敦盛	渡邊省亭	1870s	原安三郎コレクション	前期	
G-2	月下秋野	渡邊省亭	1896	原安三郎コレクション	前期	
G-3	軍鶏	渡邊省亭	1890s	原安三郎コレクション		後期
G-4	ましら	渡邊省亭	1890s	原安三郎コレクション		後期
G-5	月 秋草	鈴木華邨	19-20C (明治後期)	原安三郎コレクション	前期	
G-6	秋 翡翠	鈴木華邨	19-20C (明治後期)	原安三郎コレクション	前期	
G-7	柳 燕	橋本雅邦	1899	原安三郎コレクション		後期
G-8	鳩 紅葉	橋本雅邦	1899	原安三郎コレクション		後期
G-9	都の花 創刊号		1888.10	個人	通期	
G-10	学館行啓の図	小林永濯	1889.11	個人	通期	
G-11	鮮斎永濯碑銘 【複製】		1902	所在：亀戸天神社 写真：江東区教育委員会	通期	
G-12	原安三郎像	木下繁	1954	原安三郎コレクション	通期	

終章 時をこえて 故きを温ねて新しきを知る						
ep.001	レア・ハンドクラフト 日本の版画	パテック フィリップ	2019	個人	通期	
ep.002	柏に懸巢	小原古邨	c.1905	原安三郎コレクション	通期	
ep.003	枝垂れ桜に燕・山茶花に四十雀・蓮に鶴	小原古邨	不詳	ギャラリーそうめい堂		後期
ep.003	枝垂れ桜に燕・山茶花に四十雀・蓮に鶴 【複製】	小原古邨	不詳	ギャラリーそうめい堂	前期	
ep.004	鳶に頬白	小原祥邨	1926-35	小原英樹		後期
ep.005	鳶に頬白 原画	小原祥邨	1926-35	渡邊木版美術画舗	前期	
ep.006	梅花に鶯	小原祥邨	1926-35	渡邊木版美術画舗	前期	
ep.007	梅花に鶯 原画	小原祥邨	1926-35	渡邊木版美術画舗		後期

夏季特別展
「大加州刀展」

加州刀とは、加賀国で鍛えられた刀のことを指します。そのはじめは南北朝時代にさかのぼり、室町時代には藤嶋系や橋爪系、陀羅尼系の刀工が加賀に定着しました。

また、江戸時代に入ると美濃から「兼若」の一族が来住したことに加え、前田家による保護もあり、加賀での作刀は全盛期を迎えました。

本展では、南北朝時代から明治時代までの加州刀に加え、拵や刀装具、また刀工や武術に関する史料を展示し、加州刀の魅力を紹介しました。



チラシ

会 期 令和3年7月22日（木・祝）～令和3年9月12日（日）
 ※8月18日（水）は展示替えのため休室
 前期：7月22日（木・祝）～8月17日（火） 後期：8月19日（木）～9月12日（日）
 （※石川県の新型コロナウイルス感染症対策本部会議の決定を受け臨時休館となり7月30日（金）で終了）

時 間 9：00～17：00（チケットの販売は16：30まで）

観 覧 料 一般 1,000 円（800 円）、大学生 800 円（640 円）、高校生以下無料
 ※（ ）内は20名以上の団体料金、65歳以上は団体料金

会 場 特別展示室 企画展示室

展示構成 第1章 加州刀の黎明 真景・友重 / 第2章 清光の命脈 / 第3章 加賀青江・家次 / 第4章 加州最大派閥 陀羅尼 / 第5章 加州刀の新風 兼若 / 第6章 加州刀の終焉 / 第7章 拵

催 物 記念講演会（聴講無料・要事前申込）

「加州の名刀を語る」
 日 時：7月24日（土）13:30～15:00
 講 師：渡邊 妙子氏（公益財団法人 佐野美術館理事長）

会 場：ワークショップルーム
 聴講者：39名

正伝 長尾流躰術演武

日 時：①8月8日（日）10:00～
 ②8月8日（日）11:00～
 ③8月8日（日）13:30～

講 師：金沢工業大学 正伝 長尾流躰術部

会 場：ワークショップルーム

（※石川県の新型コロナウイルス感染症対策本部会議の決定を受け中止）

展示解説（要特別展チケット・申込不要）

日 時：①8月7日（土）13:30～14:30
 ②8月28日（土）13:30～14:30

講 師：①小浦 宗五郎氏（公益財団法人 日本美術刀剣保存協会会員）
 ②当館学芸員

会 場：ワークショップルーム

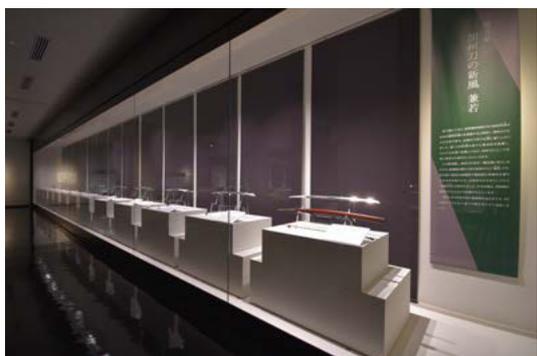
（※石川県の新型コロナウイルス感染症対策本部会議の決定を受け中止）



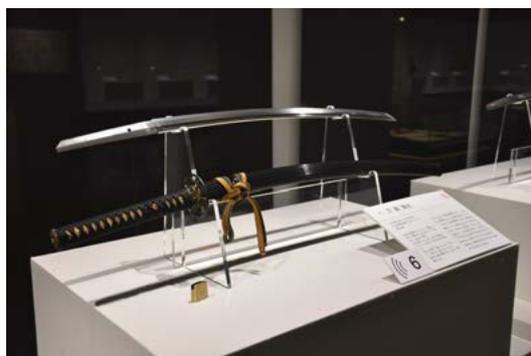
会場入口



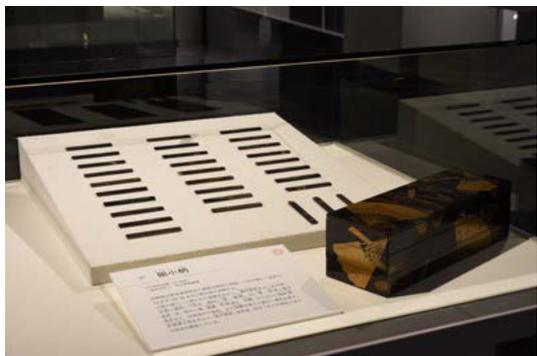
展示風景



展示風景



展示風景



展示風景



開会式



開会式



記念講演会

大加州刀展 出品目録

2021 7/22^㊄ ㊄ 9/12^㊄
 前期 7/22^㊄㊄ 8/17^㊄ 後期 8/19^㊄㊄ 9/12^㊄

第1章 加州刀の黎明 真景・友重

凡例) /は改行、()は注記 展示期間の表記がないものは通期

番号	展示	指定等	名称・銘	時代	所蔵者	備考
1		重要刀剣	短刀 銘[表]藤原真景 [裏]貞治六年二月日	南北朝時代・貞治6年(1367)	リードケミカル株式会社	
2		重要刀剣	刀 無銘 加州真景	南北朝時代(14世紀中頃)	リードケミカル株式会社	
3		重要刀剣	脇指 銘[表]藤嶋	室町時代初期(15世紀)	個人	
4		重要刀剣	短刀 銘[表]藤嶋友重	室町時代初期(15世紀)	リードケミカル株式会社	
5		重要刀剣	刀 銘[表]藤嶋友重	室町時代初期(15世紀)	リードケミカル株式会社	稲葉家伝来
5-附			金梨子地菱に三字紋時絵鞘糸巻太刀拵	江戸時代		
6			刀 銘[表]賀州住友重 [裏](金象嵌)寛文十一年九月三日/ ニツ胴截断 人見傳兵衛重次(花押)	江戸時代前期(17世紀中頃)	個人	
7			刀 銘[表]信長	室町時代中期(15世紀中頃)	本館	赤羽刀2287

第2章 清光の命脈

番号	展示	指定等	名称・銘	時代	所蔵者	備考
8			太刀 銘[表]清光	室町時代中期(15世紀後半)	能美市	
9	前		刀 銘[表]清光	室町時代中期(15世紀後半)	本館	赤羽刀811
10	後		刀 銘[表]清光	室町時代後期(16世紀中頃)	本館	赤羽刀813
11			刀 銘[表]清光	室町時代後期(16世紀中頃)	個人	
12	前		短刀 銘[表]清光	室町時代後期(16世紀中頃)	本館	赤羽刀4458
13	後		脇指 銘[表]清光	桃山時代(16世紀末~17世紀初)	本館	
14			刀 銘[表]清光	桃山時代(16世紀末~17世紀初)	本館	
15	前		短刀 銘[表]清光	桃山時代(16世紀末~17世紀初)	本館	赤羽刀839
16	後		短刀 銘[表]清光	桃山時代(16世紀末~17世紀初)	本館	赤羽刀840
17	前		刀 銘[表]清光	江戸時代前期(17世紀中頃)	本館	赤羽刀805
18			刀 銘[表]清光	江戸時代前期(17世紀中頃)	浄照寺	
18-附			黒鑿子篠塗鞘打刀拵	江戸時代		
19			刀 銘[表]金澤住藤原清光作	江戸時代前期(17世紀中頃)	株式会社 ニトロプラス	
20			脇指 銘[表]加州金澤住藤原清光作	江戸時代前期(17世紀中頃)	本館	赤羽刀820
21			薙刀 銘[表]金澤住藤原清光作	江戸時代前期(17世紀中頃)	若宮八幡宮	
22	後		脇指 銘[表]賀州住清光	江戸時代前期(17世紀中頃)	本館	赤羽刀827

第3章 加賀青江・家次

番号	展示	指定等	名称・銘	時代	所蔵者	備考
23			刀 銘[表]加州藤原住家次作 [裏]大永元年八月吉日	室町時代後期・大永2年(1522)	本館	赤羽刀41
24	前		刀 銘[表]加州藤原住家次作	室町時代後期(16世紀前半)	本館	赤羽刀28
25	後		刀 銘[表]加州藤原家次作	室町時代末期(16世紀後半)	本館	赤羽刀29
26	前		刀 銘[表]家次	室町時代中期(15世紀)	本館	赤羽刀32
27	後		刀 銘[表]家次作	室町時代後期(16世紀前半)	本館	赤羽刀35
28			脇指 銘[表]家次 [裏](金象嵌)鳥屋入/政重(花押)	室町時代末期(16世紀後半)	個人	本多政重所用
29	前		脇指 銘[表]加州住家次	江戸時代前期(17世紀前半)	本館	赤羽刀43
30	後		刀 銘[表]家吉作	室町時代後期(16世紀中頃)	本館	赤羽刀58

第4章 加州最大派閥 陀羅尼

番号	展示	指定等	名称・銘	時代	所蔵者	備考
31			刀 銘[表]勝家	室町時代後期(16世紀前半)	本館	赤羽刀279
32			短刀 銘[表]勝家作 [裏]永正二年八月日	室町時代後期・永正2年(1505)	個人	
33	前		刀 銘[表]賀州住藤原家忠	江戸時代前期(17世紀中頃)	本館	
34			刀 銘[表]賀州住藤原家忠	江戸時代前期(17世紀中頃)	個人	
34-附			黒漆塗鞘打刀拵	江戸時代中期(18世紀)		
35	後		刀 銘[表]賀州住藤原氏吉家作/延寶七年八月日 [裏]陀羅尼吉右衛門尉作之	江戸時代前期・延寶7年(1679)	本館	赤羽刀3393
36			脇指 銘[表]加陽金府住/藤原氏吉家 [裏]陀羅尼吉右衛門尉作之	江戸時代前期(17世紀中頃)	久昌寺	
36-附			黒漆塗鞘脇指拵	江戸時代		
37			刀 銘[表]加州住人杉浦仁右衛門尉殿任望/ 同國藤原四郎兵衛尉家平作之 [裏]寛文拾陸戌曆八月日	江戸時代前期・寛文10年(1670)	個人	
38	前		刀 銘[表]賀州住藤原家平作 [裏]延寶五年八月日	江戸時代前期・延寶5年(1677)	本館	本多圖書家家老・高橋家伝来
39	後		脇指 銘[表]加州金澤住家平	江戸時代中期(17世紀末~18世紀)	本館	赤羽刀50
40			刀 銘[表]□□□□御寄進依 仰奉作之/ 加州住藤原家重造 [裏]承應三年八月日	江戸時代前期・承應3年(1654)	個人	瑞龍寺奉納刀
41			刀 銘[表]加州住藤原家重作 [裏]万治元年八月日	江戸時代前期・万治元年(1658)	個人	
41-附			黒漆蠟色塗鞘打刀拵	江戸時代末期(19世紀)		

42		刀 銘[表]伊豫大掾橘勝國 (花押) [裏]寛文七年八月吉日/ (金象嵌) たい/\土壇拂 切手 村井三郎右衛門長昭 (花押)	江戸時代前期・寛文7年 (1667)	個人	
42-附		黒漆蠟色塗鞘打刀拵	江戸時代		
43	前	刀 銘[表]伊豫大掾橘勝國	江戸時代前期 (17世紀)	本館	赤羽刀271
44	後	刀 銘[表]伊豫大掾多羅尼橘勝國作	江戸時代前期 (17世紀後半)	本館	赤羽刀272
45		刀 銘[表]加州住橘勝家作	江戸時代前期 (17世紀後半)	個人	
45-附		黒漆蠟色塗鞘打刀拵	江戸時代後期 (19世紀)		
46	前	刀 銘[表]賀州住藤原信忠	江戸時代前期 (17世紀中頃)	本館	赤羽刀2285
47	後	刀 銘[表]賀州住藤原長次	江戸時代前期 (17世紀中頃)	本館	赤羽刀2121

第5章 加州刀の新風 兼若

番号	展示	指定等	名称・銘	時代	所蔵者	備考
48			刀 銘[表]賀州住兼若造	江戸時代初期 (17世紀初)	本館	初代兼若
48-附			朱漆塗鞘打刀拵	江戸時代前期		加賀藩土・松本家伝来
49	前		刀 銘[表]賀州住兼若造	江戸時代初期 (17世紀初)	本館	初代兼若 赤羽刀188
50	後		短刀 銘[表]賀州住兼若造	江戸時代初期 (17世紀初)	本館	初代兼若 赤羽刀181
51		石川県文	刀 銘[表]越中守藤原高平 (花押) [裏]元和七年十二月日	江戸時代初期・元和7年 (1621)	石川県立美術館	初代兼若
52	前		刀 銘[表]越中守藤原高平 [裏]元和八年正月日	江戸時代初期・元和8年 (1622)	金沢美術工芸大学	初代兼若
53		重要刀剣	脇指 銘[表]辻村越中守 藤原 高平 (花押) [裏]元和九年三月三日	江戸時代初期・元和9年 (1623)	リードケミカル株式会社	初代兼若
54			刀 銘[表]越中守藤原高平	江戸時代初期 (17世紀初)	本館	初代兼若 本多図書家老・高橋家伝来
55			短刀 銘[表]越中守藤原高平	江戸時代初期 (17世紀初)	個人	初代兼若
55-附			黒漆蠟色笛巻塗鞘短刀拵	江戸時代		
56	後		脇指 銘[表]越中守藤原高平 [裏]寛永三年正月吉日	江戸時代初期・寛永3年 (1626)	金沢美術工芸大学	初代兼若
57			薙刀 銘[表]加州藤原景平 [裏]寛永七年十一月日	江戸時代初期・寛永7年 (1630)	個人	
58			脇指 銘[表]賀州藤原景平 [裏] (金象嵌) 大たてわり志きうて土壇拂/ 大川原八右衛門長次 (花押) 是様	江戸時代前期 (17世紀前半)	本館	赤羽刀296
59			脇指 銘[表]賀州金沢住藤原朝臣/ 辻村四郎右門尉景平 (花押) [裏]寛永拾七二月吉日作之	江戸時代前期・寛永17年 (1640)	本館	赤羽刀297
60	前		脇指 銘[表] (金象嵌) 一尺四寸三分劔/ 延宝七年未三月八日ニツ胴截断/ 山野勘十郎久英 (花押) [裏] (金象嵌) 寛文二年六月十日/ 貳ノ胴截断/山野加右衛門永久 (花押)	江戸時代前期 (17世紀中頃)	本館	(清平か) 赤羽刀4447
61	後		脇指 銘[表]賀州住藤原清平 [裏]於武州江城造之	江戸時代前期 (17世紀後半)	本館	赤羽刀784
62	後		脇指 銘[表]賀州住兼若/以南蠻鐵造	江戸時代前期 (17世紀中頃)	本館	二代兼若
62-附			黒漆蠟色塗鞘脇指拵	江戸時代		拵の展示は見合わせ
63			刀 銘[表]賀州住兼若 [裏]寛文八年二月吉日	江戸時代前期・寛文8年 (1668)	本館	二代兼若 前田修理家伝来
63-附			檜皮色虫喰塗鞘打刀拵	江戸時代		
64	前		脇指 銘[表]賀州住兼若	江戸時代前期 (17世紀中頃)	本館	二代兼若 赤羽刀173
65			脇指 銘[表]賀州住兼若	江戸時代前期 (17世紀中頃)	本館	二代兼若 赤羽刀175
66		石川県文	刀 銘[表]賀州住兼若 [裏]靈護 寛政庚申仲冬十七/ 支禦危難子孫宝焉/雅楽助岸駒識	江戸時代前期 (17世紀後半)	石川県立美術館	三代兼若
67	前		刀 銘[表]賀州住兼若	江戸時代前期 (17世紀後半)	本館	三代兼若 赤羽刀189
68			刀 銘[表]賀州住兼若 [裏]延寶六年二月吉日	江戸時代前期・延宝6年 (1678)	本館	三代兼若
69	後		刀 銘[表]賀州金澤住藤原兼若	江戸時代前期 (17世紀後半)	本館	三代兼若 赤羽刀182
70	前		刀 銘[表]賀州住兼若	江戸時代前期 (17世紀後半)	金沢美術工芸大学	三代兼若
71	後		刀 銘[表]賀州住兼若	江戸時代前期 (17世紀後半)	金沢美術工芸大学	三代兼若
72	前		脇指 銘[表]加賀国金澤住人兼若造 [裏]青木氏直之所持之	江戸時代前期 (17世紀後半)	本館	三代兼若 赤羽刀4207
73	後		刀 銘[表]賀州住兼若	江戸時代前期 (17世紀後半)	本館	三代兼若 赤羽刀191
74	前		脇指 銘[表]賀州住兼若	江戸時代前期 (17世紀後半)	本館	三代兼若 赤羽刀176
75	後		刀 銘[表]加州出羽守高平	江戸時代前期 (17世紀後半)	本館	本多図書家老・高橋家伝来
76			短刀 銘[表]奉 志津兼氏後胤辻村兼若/ 主命殿潔斎鍛加金恭造之 [裏]今枝民部源直方/當家嫡流之守護/ 享保丁酉孟冬穀旦 [棟]伯仲叔之叔刀	江戸時代中期・享保2年 (1717)	個人	四代兼若 今枝家伝来
77	前		刀 銘[表]加州金澤住藤原兼則作 [裏]延寶二年八月吉日	江戸時代前期・延宝2年 (1674)	本館	赤羽刀408

78	後	刀	銘[表]賀州住藤原炭宮兼春	江戸時代前期 (17世紀中頃)	本館	赤羽刀390
----	---	---	---------------	-----------------	----	--------

第6章 加州刀の終焉

番号	展示	指定等	名称・銘	時代	所蔵者	備考
79	前		刀 銘[表]加州住陀羅尼橋勝久 [裏]天保十三年 於町會所ノ本朋上々土壇拂	江戸時代後期・天保13年 (1842)	本館	赤羽刀8144
80	後		刀 銘[表]北藩藤原大寿作 [裏]田中半蔵正方佩刀	江戸時代後期 (19世紀)	本館	
81		脇指	銘[表]加州住藤原兼重 (花押) / 嘉永三年于観音堂造之 [裏]舒嘯齋大音厚義佩之	江戸時代末期・嘉永3年 (1850)	個人	
82	前		刀 銘[表]加陽金府住ノ木下甚之丞藤原兼重作之 [裏]安政一三年八月吉日	江戸時代末期・安政4年 (1857)	本館	赤羽刀162
83	後		刀 銘[表]加州住兼重 [裏]安政五年八月日	江戸時代末期・安政5年 (1858)	本館	赤羽刀539
84			刀 銘[表]加陽金府住ノ木下伊勢大掾藤原兼重 [裏]文久元年八月吉日	江戸時代末期・文久元年 (1861)	個人	
85			短刀 銘[表]加州住藤原清光 [裏]明治三年八月吉日作之	明治3年 (1870)	個人	

第7章 拵

番号	展示	指定等	名称	時代	所蔵者	備考
86		重要刀装	白澤打刀拵 (石目地雪花文鞘半太刀拵)	江戸時代末期 (19世紀)	個人	前田慶寧所用
87			黒漆蠟色塗鞘脇指拵	江戸時代末期 (19世紀)	公益財団法人 宗桂会	横山家伝来
88			黒漆石目地塗鞘打刀拵	江戸時代末期 (19世紀)	個人	
89			黒漆変り塗鞘半太刀拵	江戸時代後期 (19世紀)	金沢美術工芸大学	
90		重要刀装具	揃小柄	江戸時代	リードケミカル株式会社	

参考資料

番号	展示	指定等	名称	時代	所蔵者	備考
参考1		石川県文	加越能鍛冶系図 巻①・巻③	江戸時代	金沢市立玉川図書館	
参考2		石川県文	加越能刀鍛冶略伝	明治時代	金沢市立玉川図書館	
参考3			古今加越能鍛冶系図	万延2年 (1861)	本館	
参考4			古今銘尽 巻①	享保2年 (1717)	本館	
参考5			古今銘尽合類大全 下巻	江戸時代	本館	
参考6			古刀銘尽大全 巻②	寛政4年 (1792) 以降	金沢市立玉川図書館	
参考7			新刀銘尽大全	弘化2年 (1845)	本館	
参考8			新刀銘尽 巻②	享保6年 (1721)	金沢市立玉川図書館	
参考9			本朝新刀一覽	弘化2年 (1845)	金沢市立玉川図書館	
参考10			刀工番附	安永7年 (1778)	金沢市立玉川図書館	
参考11			古刀新刀目利早手引	弘化4年 (1847)	金沢市立玉川図書館	
参考12			新刀銘鑑	寛政11年 (1799)	金沢市立玉川図書館	
参考13			多能しみ草子	江戸時代末期 (19世紀)	本館	
参考14			新陰流兵法書	万治3年 (1660)	本館	
参考15			愛州陰之流目録	未詳	本館	
参考16			不動智	江戸時代	本館	
参考17			中条流平法伝受 上・下巻	未詳	金沢市立玉川図書館	
参考18			深甚流印可之巻	寛政4年 (1792)	小松市立図書館	
参考19			深甚流秘伝書 勝負習法	文政6年 (1823)	小松市立図書館	
参考20			無拍子流和序他	文化2年 (1805)	金沢市立玉川図書館	
参考21			田宮流居合介錯之巻免許状	安永6年 (1777)	本館	
参考22			田宮流居合極意伝書	嘉永2年 (1849)	本館	
参考23			居合術覚	未詳	本館	
参考24			刀剣心得	天保7年 (1836)	金沢市立玉川図書館	
参考25			神明流大事	江戸時代 (19世紀)	金沢市立玉川図書館	
参考26			神明流業書	江戸時代 (19世紀)	金沢市立玉川図書館	

秋季特別展

「徳川美術館展 一尾張徳川家の至宝」

本展では、徳川美術館に伝来した家康の遺産「駿府御分物」や歴代当主、子女の所用品に加え、同館のコレクションの中から選び抜いた名品を紹介しました。

国宝「源氏物語絵巻」は徳川美術館以外では巻物装への修復後初めての特別公開であり、三代将軍家光の娘千代姫の婚礼調度である国宝「初音の調度」は大名道具と呼ぶにふさわしい華麗な品です。

また、前田綱紀から五代将軍綱吉に献上された国宝の太刀「津田遠江長光」や、関ヶ原合戦直後の徳川家との関係をリアルに伝える「前田利長書状」など、加賀前田家ゆかりの貴重な品々も一堂に会しました。



チラシ

会 期 令和3年10月9日(土)～令和3年11月23日(火・祝) 11/1(月)展示替えのため閉室
前期：10月9日(土)～10月31日(日) 後期：11月2日(火)～11月23日(火・祝)

時 間 9:00～17:00 (展示室への入室は16:30まで)

観 覧 料 《前売り・団体》 一般 1,100円、中高生 700円、小学生 500円

《当日》 一般 1,300円、中高生 900円、小学生 700円

未就学児童は無料、団体(20人以上)は前売り料金

65歳以上は前売り料金、障がい者手帳等お持ちの方と介添え人1人まで無料

会 場 特別展示室 企画展示室

展示構成 序章 御三家筆頭の威光 / 第1章 研ぎ澄まされた美—武具—

第2章 もてなしと儀礼—茶・香・能— / 第3章 いにしへの知を求めて—絵画・書跡—

第4章 美麗なる調度—姫君の婚礼— / 特別公開 国宝「源氏物語絵巻」

催 物 **記念講演会** (聴講無料・要事前申込)

「国宝 源氏物語絵巻の魅力」

日 時：10月24日(土) 13:30～15:00

講 師：徳川美術館学芸部部長代理

吉川 美穂氏

会 場：ワークショップルーム

聴講者：42名

展示解説 (要特別展チケット・申込不要)

日 時：①10月9日(土) 13:30～15:00

②11月7日(日) 13:30～15:00

講 師：①徳川美術館学芸員

薄田 大輔氏

②徳川美術館学芸部部長代理

吉川 美穂氏

会 場：ワークショップルーム

聴講者：①：22名 ②：32名

れきはくゼミナール (聴講無料・申込不要)

①「前田光高・大姫の縁組と婚礼調度」

日 時：10月16日(土) 13:30～15:00

講 師：塩崎 久代(当館学芸主任)

聴講者：37名

②「加賀前田家から徳川将軍家への贈り物」

日 時：11月20日(土) 13:30～15:00

講 師：吉田 朋生(当館学芸員)

聴講者：40名

メイト会員限定展示解説 (聴講無料・要事前申込)

日 時：①11月3日(水) 13:30～15:00

②11月5日(金) 13:30～15:00

講 師：当館学芸員

会 場：ワークショップルーム

聴講者：①：6名 ②：11名



会場入口



展示風景



展示風景



展示風景



記念講演会



展示解説



れきはくゼミナール①



れきはくゼミナール②

【出品一覧】



- ・Noは図録の作品番号です。展示順とは一致していませんので、ご了承下さい。
- ・都合により展示作品および展示期間が変更されることがあります。
- ・展示期間の記載のない作品は、全期間展示です。

●国宝 ○重要文化財 ○重要美術品

序章 御三家筆頭の威光

No	指定	名称	作者	所有者・寄贈者	時代	世紀・年	員数	展示期間
1		徳川家康画像(東照大権現像) 模本(原本 徳川美術館蔵)	桜井清香模写		昭和	昭和12年<1937>	1幅	
2		徳川義直画像 模本(原本 名古屋市清浄寺旧蔵)	桜井清香模写		昭和	昭和12年<1937>	1幅	
3		駿府御分物御道具帳 第3・5・6冊			江戸	元和4年<1618>	11冊の内	
4		脇指 銘 吉光 名物 鯉尾藤四郎	初代越前康継再刃	織田信雄・豊臣秀吉・豊臣秀頼・徳川家康・徳川義直(尾張徳川家初代)所持	鎌倉	13	1口	
5		黒塗黒糸威具足		徳川義直(尾張徳川家初代)着用	江戸	17	1領	
6		徳川義直従二位位記 寛永三年八月十九日			江戸	寛永3年<1626>	1巻	
7		徳川義直権大納言口宣案 寛永三年八月十九日			江戸	寛永3年<1626>	1通	
8		前田利長書状 羽久太宛 九月廿七日			桃山	慶長4年<1599>	1枚	
9		徳川秀忠書状 越前宰相宛 霜月十五日		頼綱家寄贈	桃山	慶長7年<1602>	1幅	
10		関ヶ原合戦絵巻 巻4(巻冬)		田安徳川家伝来	江戸	19	4巻の内	巻替

第1章 研ぎ澄まされた美 —武具—

No	指定	名称	作者	所有者・寄贈者	時代	世紀・年	員数	展示期間
11	●	太刀 銘 長光 名物 津田遠江長光		織田信長・明智光秀・津田重久・前田利常(加賀前田家3代)・綱紀(同家5代)・徳川綱吉(5代将軍)・家宣(6代将軍)・徳川吉通(尾張徳川家4代)所持	鎌倉	13	1口	
12	◎	太刀 銘 備前国長船住守家 名物 兵庫守家		丸毛長照・徳川家康所持	鎌倉	13	1口	
13		刀 銘 賀州住兼若 四方助(花押) 又八(花押) 寛文六年八月吉日		松平勝綱(尾張徳川家8代宗勝8男)所持	江戸	寛文6年<1666>	1口	
14		脇指 額銘 藤嶋友重		徳川宗春(尾張徳川家7代)・慶勝(同家14代)所持	室町	15-16	1口	

15	◎	短刀 銘 正宗 名物 不動正宗		豊臣秀次・徳川家康・前田利家(加賀前田家初代)・利常(同家3代)・徳川秀忠(2代將軍)・徳川義直(尾張徳川家初代)所持	鎌倉	14	1口	
16		梨子地葵紋蒔絵毛抜形黄金造太刀拵			江戸	17	1腰	前期
17		黒塗葵紋蒔絵糸巻太刀拵		徳川慶勝(尾張徳川家14代)所用	江戸	19	1腰	後期
18		蠟色塗刀拵		徳川義礼(尾張徳川家18代)所用	江戸	19	1腰	前期
19		蠟色塗脇指拵		徳川義礼(尾張徳川家18代)所用	江戸	19	1腰	前期
20		石首魚石入蠟色塗刀拵		徳川慶勝(尾張徳川家14代)所用	江戸	安政4年<1857>	1腰	後期
21		石首魚石入蠟色塗脇指拵		徳川慶勝(尾張徳川家14代)所用	江戸	安政元年<1854>	1腰	後期
22		牛図三所物 銘 紋祐乗 光美(花押)	後藤祐乗(後藤家初代)・光美(同家15代)作		室町	15	1具	
23		獅子図目貫 無銘 乗真	伝後藤乗真(後藤家3代)作		室町	16	1対	
24		茶の実花図拵 無銘 宗乗	伝後藤宗乗(後藤家2代)作		室町	16	1本	
25		俱利伽羅龍図小柄 無銘 光乗	伝後藤光乗(後藤家4代)作		桃山	16	1柄	
26		葵紋赤銅鐺			江戸	17	1枚	
27		兎図透鉄鐺 銘 尾府住則亮作	則亮作		江戸	19	大小1対	
28		火繩銃 三匁五分筒 銘 完(穴)粟鑄 鍛三重張 慶長拾六年 十月吉日 日本清堯(花押)	野田清堯作	徳川家康所用	江戸	慶長16年<1611>	1挺	
29		金唐革長胴乱 附属 早合・口葉入・セセリ			江戸	17	1口	
30		象牙葵紋蒔絵羽箆形口葉入			江戸	17-18	1口	
31		水牛角胴葉入			江戸	17	1口	

第2章 もてなしと儀礼 —茶・香・能—

No	指定	名称	作者	所有者・寄贈者	時代	世紀・年	員数	展示期間
32		一山一寧墨蹟「応無所住」		徳川家康・徳川義直(尾張徳川家初代)所用	鎌倉	14	1幅	前期
33		一休宗純墨蹟「初祖菩提達磨大師」		徳川家康・徳川義直(尾張徳川家初代)所用	室町	15	1幅	後期
34	○	関戸本古今和歌集切 こゝろかへ	伝藤原行成筆	加賀前田家・関戸家伝来 岡谷家寄贈	平安	11	1幅	前期
35	○	石山切 貫之集下 うくひすの	藤原定信筆	岡谷家寄贈	平安	天永3年<1112>	1幅	後期
36		遠浦帰帆図 模本 (原本 徳川美術館蔵)	徳川光友(尾張徳川家2代)筆	小坂井家伝来	江戸	17	1幅	前期
37	◎	寒山拾得図	天遊松谿筆		室町	15	1幅	後期
38		古銅砧形花生 銘 杵のをれ		豊臣秀吉・石川貞清・徳川家康・徳川義直(尾張徳川家初代)所用	中国・元-明	14-15	1口	
39		青磁算木手花生			中国・南宋	13	1口	
40		唐物茶壺 銘 金花		六角氏・織田信長・豊臣秀吉・松井有閑・徳川家康・徳川頼宣(紀伊徳川家初代)所用 西条松平家伝来	中国・南宋-元	13-14	1口	
41		唐物丸壺茶入			中国・南宋-元	13-14	1口	
42		瀬戸夏山春慶茶入			桃山	16	1口	
43		祥瑞阿古陀形薄茶器		徳川斉朝(尾張徳川家10代)所用	中国・明	17	1口	
44		竹茶杓 銘 二人静	千宗旦作	仙叟宗室(裏千家4代)・一燈宗室(同8代)・玄々齋宗室(同11代)箱書	江戸	17	1対	前期
45		竹茶杓 銘 珍客	仙叟宗室(裏千家4代)作	六閑齋宗室(裏千家6代)・認得齋宗室(同10代)箱書	江戸	17	1本	後期

46	◎	白天目		武野紹鷗・武野仲定・徳川義直(尾張徳川家初代)所用	室町	15-16	1口	
47		井戸茶碗 銘 東大寺		覚々齋宗左(表千家6代)箱書 松尾宗二(松尾流初代)所用 岡谷家寄贈	朝鮮王朝	16	1口	
48		志野竹の子文筒茶碗 歌銘 玉川		小堀政尹箱書 関戸家伝来 岡谷家寄贈	桃山	16-17	1口	
49	◎	古備前水指 銘 青海		武野紹鷗・徳川義直(尾張徳川家初代)所用	室町	15	1口	
50		瓢釜		加賀前田家伝来 岡谷家寄贈	江戸	17	1口	
51		金紫銅鴛鴦香炉			中国・明	15-16	1口	
52		青磁袴腰香炉			中国・南宋	13	1口	
53	◎	銀檜垣に梅図香盆飾り		靈仙院千代姫(尾張徳川家2代光友正室)所用	江戸	17	1具	
54		松竹梅山水蒔絵香棚			江戸	19	1基	前期
55		菊折枝蒔絵香簞笥			江戸	18	1基	後期
56		菊折枝蒔絵枕香炉		転陵院好君(尾張徳川家9代宗睦正室)所用	江戸	18	1基	前期
57		菊折枝蒔絵沈割盤		俊恭院福君(尾張徳川家11代斉温継室)所用	江戸	18	1基	後期
58		菊折枝蒔絵沈割具		俊恭院福君(尾張徳川家11代斉温継室)所用	江戸	18-19	1具	後期
59		香木 手鑑香 銘 蘭奢待 (十種名香の内)		源頼政・太田道灌・東福門院和子所用				
60		香木 伽羅 銘 大伽羅	後西天皇勅銘					
61		香木 真那賀 銘 一声	徳川光友(尾張徳川家2代)命銘					
62		螺鈿騎馬人物図香合			中国・明-清	16-17	1合	前期
63		堆朱束蓮文香合			中国・元-明	14-15	1合	後期
64		呉須赤絵扇形香合		千宗旦・徳川光友(尾張徳川家2代)所用	中国・明	17	1合	
65		瑠璃雀香合		小堀宗中(遠州流8世)箱書	中国・明	17	1合	
66		能面 黒式尉	伝越智吉舟作		室町	15	1面	前期
67		能面 小尉 朱漆花押	井関作		桃山	16	1面	後期
68		能面 小面	伝是閑吉満(大野出目家初代)作		桃山-江戸	16-17	1面	前期
69		能面 瘦女	伝越智吉舟作		室町	16	1面	後期
70		狂言面 猿			江戸	18-19	1面	前期
71		狂言面 狐 金漆銘 狐 朱漆銘 出目若狹大掾入道 藤原寿満(花押)作	出目寿満作		江戸	17-18	1面	後期
72		紅・白段金霞枝垂桜に扇文唐織			江戸	19	1領	前期
73		萌黄・黄段山道に釘抜雲版文厚板唐織			江戸	17	1領	後期
74		萌黄地紗綾形に輪花文金欄袷法被			江戸	18	1領	後期
75		紫地秋草に蝶文長絹			江戸	18	1領	前期
76		紅地金鱗文摺箔			江戸	17-18	1領	前期
77		花色・白・紅・萌黄縞入段熨斗目			江戸	18	1領	後期
78		桐に鳳凰図中啓			江戸	19	1握	前期
79		菊牡丹図鎮扇		徳川慶勝(尾張徳川家14代)所用	江戸	19	1握	後期
80		胴箔桐唐草文鬘帯			江戸	18-19	1筋	前期
81		白地撫子文鬘帯			江戸	18-19	1筋	後期
82		胴箔水に楓葉文腰帯			江戸	18-19	1筋	後期
83		浅葱地亀甲文腰帯			江戸	18-19	1筋	前期

第3章 いにしへの知を求めて—絵画・書跡—

No	指定	名称	作者	所用者・寄贈者	時代	世紀・年	員数	展示期間
84		基俊集・登蓮集	伝藤原定家筆	成瀬正虎(犬山成瀬家2代)・ 徳川光友(尾張徳川家2代)所用	鎌倉	13	1冊	前期
85		筑後切 拾遺和歌集 残巻	伏見天皇筆		鎌倉	13-14	1巻	後期
86		朗詠詩歌	尊円親王筆		南北朝	14	1巻	前期
87		源氏物語抜書 浮舟	後小松天皇筆		室町	14-15	1巻	後期
88		曾我物語 附属 老梅蒔絵書物箱			江戸	17	12冊	前期
89		源氏物語 附属 南天蒔絵源氏筆筒	持明院基輔筆		江戸	延宝5年<1677>	54冊	後期
90		鷗鷺取魚図	熊斐筆		江戸	宝暦5年<1755>	1幅	後期
91		滕王閣図	遠坂文雍筆		江戸	19	1幅	前期
92		四季花鳥図屏風	狩野探幽筆		江戸	17	6曲1双	前期
93	○	蔽島・松島図屏風	土佐光起筆		江戸	17	6曲1双	後期
94		歴代聖賢図巻 上巻	松原探梁筆		江戸	17	2巻の内	巻替
95		文正草子絵巻 下巻		俊恭院福君(尾張徳川家11代 斉温継室)所用	江戸	17	3巻の内	巻替

第4章 美麗なる調度 —姫君の婚礼—

No	指定	名称	作者	所用者・寄贈者	時代	世紀・年	員数	展示期間
96	●	初音蒔絵眉作箱		霊仙院千代姫(尾張徳川家2 代光友正室)所用	江戸	寛永16年<1639>	1具	前期
97	●	初音蒔絵櫛箱		霊仙院千代姫(尾張徳川家2 代光友正室)所用	江戸	寛永16年<1639>	1具	後期
98		菊の白露蒔絵櫛箱		清泰院大姫(加賀前田家4代 光高正室)所用	江戸	寛永10年<1633>	1具	前期
99		菊の白露蒔絵文台		清泰院大姫(加賀前田家4代 光高正室)所用	江戸	寛永10年<1633>	1基	後期
100		井筒蒔絵硯箱		徳川吉通(尾張徳川家4代)所用	江戸	17	1合	前期
101		松千鳥蒔絵文台			江戸	19	1基	前期
102		葵紋散蒔絵鏡立			江戸	19	1基	後期
103		葵紋散蒔絵鏡桌			江戸	19	大小1具	後期
104		葵紋散蒔絵耳盥・輪台			江戸	19	1具	後期
105		牡丹唐草蒔絵茶弁当		維学心院維君(尾張徳川家9 代宗睦養女)・貞徳院矩姫(同 家14代慶勝正室)所用	江戸	19	1荷	

特別公開 国宝「源氏物語絵巻」

No	指定	名称	作者	所用者・寄贈者	時代	世紀・年	員数	展示期間
106	●	源氏物語絵巻 竹河(二)			平安	12	1巻	10/9~10/24
107	●	源氏物語絵巻 東屋(一)			平安	12	1巻	11/8~11/23
108		源氏物語絵巻 模本 丙巻	住吉広行筆		江戸	18-19	2巻の内	11/8~11/23
109		源氏物語絵巻 竹河(二) 詞書第1・2紙 現状模写(東京藝術大学)	川名倫明筆	川名倫明氏寄贈	平成	平成20年<2008>	1面	10/25~11/7
110		源氏物語絵巻 竹河(二) 詞書第3・4紙 現状模写 (東京藝術大学)	廣瀬貴洋筆	廣瀬貴洋氏寄贈	平成	平成19年<2007>	1面	10/25~11/7
111		源氏物語絵巻 竹河(二) 詞書第5・6紙 現状模写(東京藝術大学)	染谷泰介筆	染谷泰介氏寄贈	平成	平成23年<2011>	1面	10/25~11/7
112		源氏物語絵巻 竹河(二) 詞書第7・8紙 現状模写(東京藝術大学)	湯川佳昭筆	湯川佳昭氏寄贈	平成	平成23年<2011>	1面	10/25~11/7
113		源氏物語絵巻 竹河(二) 絵 現状模写(東京藝術大学)	川名倫明筆	川名倫明氏寄贈	平成	平成20年<2008>	1面	10/25~11/7
114		源氏物語絵巻 竹河(二) 絵 復元模写	富澤千砂子筆		平成	平成17年<2005>	1面	10/9~11/7
115		源氏物語絵巻 東屋(一) 絵 復元模写	馬場弥生筆		平成	平成17年<2005>	1面	11/8~11/23

(4) 企画展・スポット展示

企画展

※館内改修工事のため開催なし

スポット展示

※館内改修工事のため開催なし

他団体主催の展覧会

※館内改修工事のため開催なし

2. 調査研究活動

(1) 紀要の発行

石川県立歴史博物館研究紀要 第31号 (令和4年6月発行)

[論文]

奥能登地域仏像調査報告—明泉寺・岩倉寺・粉川寺・重蔵神社—	杉崎 貴英
十六世紀の明泉寺を探る—成身院宗歆の活動から—	岡崎 道子
幕末期の「北ルート」廻船経営と津軽・出羽	
—附・石川県立歴史博物館蔵「加藤家文書目録」—	濱岡 伸也
第二代石川県令桐山純孝—その事績の検討—	石田 健
大神宮の香林坊—厳肅と猥雑をめぐる金沢盛り場史—	大門 哲
[研究ノート]	
金沢歌舞伎最後の女役者	大井 理恵
華邸と北陸—「鈴木華邸旧蔵資料」の紹介を兼ねて	中村 真菜美

(2) 石川の歴史遺産セミナー

博物館活動の充実を図るため、県内外の研究機関並びに研究者の協力を得ながら、当地の新しい歴史像の創造に寄与できる歴史的課題に取り組み、公立博物館としての専門性と情報発信機能を強化するとともに、地域の人々が身近な地域遺産に学び、自発的で豊かな文化活動が展開できるよう文化力向上を図る。

本年度はコロナ感染拡大をうけ予定の事業を中止した。

(3) 国際交流事業

韓国国立全州博物館との交流

大韓民国国立全州博物館と当館が平成3年1月15日に締結した姉妹館協約に基づき、両館の学術的、文化的交流と親善、ならびに環日本海文化の共同研究を目的として交流員を相互派遣し、交流記念展についての打ち合わせや、専門分野に関連した文化施設、史跡などの視察を行う。

本年度はコロナ感染拡大をうけ予定の事業を中止した。

3. 資料収集保存活動

(1) 収集資料一覧

令和3年度

購入資料

	分類	資料名称	点数	年代
1	美術品	水墨山水幅	1	明治15年(1882)
2	美術品	孔雀文様花瓶	1	明治時代～大正時代
3	歴史資料	鈴木華邨旧蔵資料	84	明治時代～大正時代
4	歴史資料	能登名跡志	5	江戸時代

計4件91点

寄贈資料

	分類	資料名称	点数	年代
1	美術品	掛軸「春暁花冠之図」	1	明治20年(1887)頃
2	美術品	図案	4	明治20年(1887)頃
3	美術品	木彫皿(組皿)	20	明治20年代
4	美術品	紋付(小)	1	明治20年代
5	美術品	日本画木版集	31	明治30年(1897)頃
6	美術品	掛軸「関羽之図」	1	明治20年～26年(1887～1893)
7	美術品	掛軸「寒山捨得図」	1	明治20年代
8	美術品	上絵壺	1	明治時代
9	美術品	上絵組皿	6	明治15年(1882)
10	美術品	図案帖	3	明治20年～26年(1887～1893)頃
11	美術品	きりん置物	1	明治時代
12	美術品	久保田米僊筆「仲國之図」	1	明治時代
13	美術品	田中一華・石川柳城筆 雑画帖	1	明治時代
14	美術品	中林竹溪筆 山水画帖	1	幕末
15	美術品	広田百豊筆「大和心」	1	昭和時代前期
16	美術品	広田百豊筆「雪中喜雀」	1	昭和時代前期
17	美術品	脇指 銘播磨大掾藤原清光 附 黒漆塗千段鞘脇指拵	1	江戸時代前期
18	美術品	短刀 銘清一 明治二二年二月吉日 附 黒漆塗千段鞘合口拵	1	明治4年(1871)
19	考古資料	橋本澄夫調査資料(追加分)	70	昭和時代～平成時代
20	歴史資料	写真アルバム	3	大正時代～昭和時代
21	歴史資料	達如版 五帖御文	1	江戸時代後期
22	歴史資料	蒔絵硯箱「和歌之浦芦」	1	江戸時代後期
23	歴史資料	和讃卓	1	明治4年(1871)
24	歴史資料	大日本窯業協会雑誌	1	明治30年(1897)
25	歴史資料	江戸名所之図	1	江戸時代後期
26	歴史資料	友田家文書資料	2	明治時代・昭和時代初期
27	歴史資料	友田安清肖像写真	1	明治20年～26年(1887～1893)頃
28	歴史資料	無銘 短刀	1	江戸時代後期
29	歴史資料	前田慶寧書幅	1	江戸時代後期
30	歴史資料	西郷隆盛書幅(印刷)	1	19世紀後半
31	歴史資料	四高生写真アルバム	1	昭和13～16年(1938～1941)
32	歴史資料	海図	10	大正時代～昭和時代初期
33	歴史資料	小型船建造図面	11	大正時代～昭和時代初期
34	歴史資料	大日本交通全図	1	大正11年(1922)3月1日発行
35	歴史資料	金沢城絵図幅	1	明治時代後期

36	歴史資料	前田利家書状 越後中納言宛	1	慶長2年(1597)6月9日
37	歴史資料	川端家資料	34	明治時代～昭和時代
38	歴史資料	久世コレクション	2519	江戸時代～明治時代
39	歴史資料	古銃(エンフィールド銃)	1	1868年
40	歴史資料	女有職芋文庫	1	慶応2年(1866)
41	歴史資料	刀装具類	31	不詳
42	民俗資料	アイヌ衣装(テタラペ)	2	明治時代中期
43	民俗資料	薬種商看板	1	江戸時代後期
44	民俗資料	サイ衝立	1	幕末～明治時代
45	民俗資料	茶もみ板	1	平成20年(2008)頃まで使用
46	民俗資料	雅楽文様振袖 附 几帳に桐菊模様丸帯	1	大正時代末期

計46件2778点

(2) 資料の保存

◆ガス燻蒸消毒／防虫処理作業

平成18年度から、通常ガス燻蒸を中止し、特殊テントの中に炭酸ガス(二酸化炭素=CO₂)を2～3週間充填し、酸欠による窒息で殺虫を行う方式に改めた。これまで実施してきた館内定点モニタリングと清掃作業の成果により、人体や環境への影響が懸念される化学薬品への依存を最小限にとどめるものである。また、害虫の侵入しやすい経路に対して薬剤散布による予防や、館内定点モニタリングの継続・実施により、虫菌類被害の予防に努めている。なお平成27年度より石川県立能登高等学校柳田校舎内の体育館を外部収蔵庫とし、環境調査を行っている。

(炭酸ガス殺虫)

- ① 作業概要 床面積4m×4mに高さ2mの32m³の容量を持つテントに炭酸ガス(CO₂)を充填し、殺虫処理を行う。
- ② 作業の実施 令和3年度は1回実施(9月27日～10月11日)。作業期間は15日間、使用炭酸ガス量は60kg。

(環境調査モニタリング)

① 本館

(ア) 実施場所 第1～3棟の収蔵室と展示室、および正面受付と各棟出入口

(イ) 調査方法 I. 害虫調査 調査区域に害虫捕獲用シートを設置し、2～3週間後に回収する。また、各室の埃を採取する。

II. 菌類調査 多孔板衝突法により浮遊菌を採取。付着菌は各室5ヶ所でCP加ポテトデキストロース寒天培地を床面にあてて採取。

III. 浮遊粒子調査 各室1～2ヶ所パーティクルカウンターにより空気を採取し、0.5及び5.0ミクロンの2粒子を測定する。

(ウ) 調査期間 令和3年度は年2回(6月14日、10月26日)実施

(エ) 結果報告 翌月中に調査ごとの分析結果を書面で報告。年度全体の分析から翌年度の対策計画に反映させる。

② 柳田収蔵庫

(ア) 実施場所 体育館・剣道場

(イ) 調査方法 I. 害虫調査 調査区域に捕虫トラップを設置し、2～3週間後に回収する。また、各室の埃を採取する。

II. 菌類調査 エアーサンプラーにより浮遊菌を採取。付着菌は10ヶ所でCP加ポテトデキストロース寒天培地を床面にあてて採取。

III. 浮遊粒子調査 2ヶ所パーティクルカウンターにより空気を採取し、0.5及び5.0ミクロンの2粒子を測定する。

(ウ) 調査期間 令和3年度は年1回(10月26日)実施

(エ) 結果報告 翌月中に調査ごとの分析結果を書面で報告。年度全体の分析から翌年度の対策計画に反映させる。

(害虫など防除作業)

- ① 防塵用ソールマットの設置
 - ア. 設置場所 特別収蔵庫、文献図書室、古文書室、第1収蔵庫、第2収蔵庫
 - イ. 設置方法 各室入口に微粘着性ソールマット(30シート1綴り)を設置し、付着した埃や菌を吸着する。

(3) 館藏資料分類表

(R4.3.31)

資料区分		令和元年度 収集資料数	令和2年度 収集資料数	令和3年度 収集資料数	資料総数
美術	購入	1	0	2	281
	寄付	6	5	77	
考古	購入	0	0	0	9,132
	寄付	2,370	0	70	
歴史	購入	0	8	89	87,716
	寄付	892	315	2,625	
民俗	購入	0	0	0	31,439
	寄付	195	141	6	
自然	購入	0	0	0	92
	寄付	0	0	0	
模型・複製	購入	0	0	0	229
	寄付	0	0	0	
視聴覚	購入	0	0	0	236
	寄付	0	0	0	
図書	購入	0	0	0	2,093
	寄付	1,380	1,225	1,254	
合計		4,844	1,694	4,123	196,147

(4)貸与資料一覧

貸与先	資料名	目的	期間
石川四高記念文化交流館	四高関係資料 115点	石川四高記念文化交流館で展示するため	R3.4.1～R4.3.31
石川四高記念文化交流館	第四高等学校絵葉書 1組	石川四高記念文化交流館で展示するため	R3.4.1～R4.3.31
(公財)石川近代文学館	雑誌「少女の友」 28点	石川近代文学館で展示するため	R3.4.1～R4.3.31
珠洲市立珠洲焼資料館	カメワリ坂窯陶片 4箱	珠洲市立珠洲焼資料館で展示するため	R3.4.1～R4.3.31
能美ふるさとミュージアム	馬の線刻のある壺ほか、 2点	能美ふるさとミュージアムで展示するため	R3.4.1～R4.3.31
(公財)石川近代文学館	北辰会雑誌96・98号 3点	企画展「北辰の青春」で展示するため	R3.4.19～R3.8.16
前田土佐守家資料館	流聞軒其方狂歌絵日記ほか、 4点	企画展「加賀藩上級武士の日記」で展示するため	R3.4.19～R3.8.4
前田土佐守家資料館	後奈良天皇宸翰女房奉書ほか、 2点	企画展「消息文―仮名の書状」で展示するため	R3.7.30～R4.1.11
金沢くらしの博物館	大鋸コレクション書籍 8点	特別展「加賀万歳」で展示するため	R3.8.26～R3.11.30
金沢大学資料館	石川県考古学資料展目録ほか、 4点	特別展「金沢大学と石川県の考古学」で展示するため	R3.9.2～R3.10.29
白山市立千代女の里俳句館	加賀千代尼自画賛幅 2点	企画展「千代女と四季の植物」で展示するため	R3.9.3～R3.10.29
小松市立博物館	加州金平鉦山絵巻 1点	特別展「石からはじまる物語～ものづくりこまつ～」で展示するため	R3.9.21～R3.12.1
公益財団法人阪急文化財団逸翁美術館	鈴木華邨旧蔵資料 6点	特別展「幻の天才画家 鈴木華邨」で展示するため	R3.9.21～R3.12.20
石川県金沢城調査研究所	火縄銃 1点	金沢城発掘展「モノで巡る金沢城」で展示するため	R3.9.30～R3.11.29
能美市教育委員会	斯波満種遵行状幅 1点	能美ふるさとミュージアム新春特別展「中世能美」で展示するため	R4.1.5～R4.3.10
板橋区立郷土資料館	武家諸法度ほか、 10点	特別展「江戸と金沢を結ぶ“板橋”」で展示するため	R4.1.6～R4.3.25

計16件192点

(5)写真貸与・特別利用状況

種別	点数
写真掲載・放映	75件143点(うち非館蔵品2件2点)
閲覧	3件167点(うち非館蔵品0件0点)
撮影	23件766点(うち非館蔵品1件2点)

計101件1076点

4. 教育普及活動

(1) 一般広報

■新聞・広報誌・雑誌などへの掲載

新聞（一般記事・情報案内記事・県庁広報記事）
広報いしかわ、商工石川など県発行の広報誌
各種情報誌、タウン情報誌、歴史・美術系雑誌

■テレビ・ラジオでの広報

県広報番組、ニュース番組、情報番組

■マスコミへの情報提供

県庁文教記者クラブ加入の13社に随時情報を提供
県内放送局及び新聞社に随時情報を提供

■インターネットによる情報提供

当館ホームページ・Twitterで最新情報を公開
各種観光・イベント情報サイトへの掲載

■広報誌「石川れきはく」の発行（年4回）

県内教育委員会、県内図書館・公民館・博物館その他公共施設、れきはくメイト会員

■「れきはくメイト情報」の発行（年7回）

れきはくメイト会員への各種案内

■ポスター、チラシの配布

全国の博物館・大学・研究機関、県内の教育委員会・小中学校・図書館・公民館その他公共施設、宿泊関係施設、県内商店街、県内市町観光関係所管課、県内のコンビニエンスストア 他

■学校向けちらしの作成・配布

石川県立美術館等と北陸三県の小中学校等に案内パンフレットを郵送

■新聞広告

(2) 出版

■機関誌「石川れきはく」 規格:A4 頁数:8 ページ 発行部数:1,100 部

令和3年度はNo.134～137を発行し、関係機関やれきはくメイト(友の会)等に配布した。



134号



135号



136号



137号

(3) 案内解説・レファレンス・外国語対応

①案内解説

案内解説を希望する団体へは、見学前に解説員が館概要と見どころを説明している（予約制）。また学校団体入館者向けに、展示室で利用できるワークシート「いしかわれきはくガイド」（ホームページからダウンロード可）を配布していたが、令和2年度より引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため、展示室での利用は禁止した。

個人に対しては音声ガイド*（無料）を勧めていたが、令和2年度より引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止した。

②レファレンス

専門的な内容の案内、および学術関係の問い合わせには学芸員が対応している。

*音声ガイド…4か国語（日本語・英語・中国語・韓国語）対応、資料60点分の解説を収録
1点あたり約3分、全3時間

③外国語対応

常設展示室のパネルの解説は、コーナー名称は4か国語（日本語・英語・中国語・韓国語）で示している。コーナーの解説文・資料名は2か国語（日本語・英語）のみであるため、音声ガイドにより外国人の観覧者への対応をしていたが、令和2年度より引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止した。

また、インバウンド需要に対応するため、ホームページに外国語ページ（上記4か国）を追加し、公開している。

(4) 講座

れきはくゼミナール

れきはくゼミナールを次のように開催した。

1. 対象・定員 どなたでも 定員 40名
2. 開催日 月1～2回程度 土曜日(全12回)
13:30～15:00
3. 受講料 無料
4. 会場 当館ワークショップルーム
5. 講師 当館学芸員
6. 内容 別表のとおり

No	開催日	テーマ	担当者	参加者
1	5月22日	古代の家族居館をさぐる	三浦 俊明	中止
2	6月12日	再興九谷 -その歴史と目的-	野村 将之	中止
3	6月26日	霊場 明泉寺の歴史と文化財	岡崎 道子	15名
4	7月17日	夕涼み - 金沢最長の祝祭 -	大門 哲	13名
5	8月21日	加州刀の魅力	北 春千代	中止
6	9月4日	加州刀工・清光の伝承を追って	大井 理恵	中止
7	9月18日	大規模御殿装飾復元 -首里城・名古屋城を例として-	鶴野 俊哉	中止
8	10月16日	前田光高・大姫の縁組と婚礼調度	塩崎 久代	36名
9	10月30日	加賀藩の巡見と絵画	中村 真菜美	31名
10	11月6日	第三代石川県令千坂高雅	石田 健	中止
11	11月20日	加賀前田家から徳川將軍家への贈り物	吉田 朋生	40名
12	1月22日	能登天領の成立と変遷	濱岡 伸也	40名



令和3年度 第11回 れきはくゼミナール

いしかわ歴史講座

常設展の内容を中心とした講座を次のように開催した。

1. 対象・定員 どなたでも 定員 40名
2. 開催日 月1～2回程度 金曜日(全12回)
13:30～15:00
3. 受講料 無料
4. 会場 当館ワークショップルーム
5. 講師 当館学芸員
6. 内容 別表のとおり

No	開催日	テーマ	担当者	参加者
1	5月14日	中世いしかわの信仰世界	岡崎 道子	中止
2	5月28日	縄文ムラ・水辺のなりわい	野村 将之	中止
3	6月18日	古代のお触書「加賀郡傍示札」	三浦 俊明	中止
4	7月9日	加賀藩政下の「マネーゲーム」	濱岡 伸也	41名
5	8月27日	加賀前田家と江戸幕府	塩崎 久代	中止
6	9月10日	神々をもてなす -いしかわの神饌文化と来訪神行事-	大門 哲	中止
7	9月24日	松楓殿コレクションにみる日本近代工芸	鶴野 俊哉	中止
8	10月1日	明治維新と武士の近代	石田 健	中止
9	10月22日	祭りの国・いしかわの祭礼風流	大井 理恵	16名
10	11月12日	長谷川等伯と妙成寺	北 春千代	23名
11	11月26日	石川の美術工業 - 海のおこうを夢見て -	中村 真菜美	21名
12	1月14日	特産品から読み解く江戸時代 - 加賀藩の産物方政策 -	吉田 朋生	33名



令和3年度 第4回 いしかわ歴史講座

古文書講座

古文書の読み方や内容を分かりやすく解説する講座を、前期と後期の2回実施した。

	開催日	テーマ	担当者
前期	5月26日	米商人からみた武家社会	濱岡 伸也
	6月23日		
	7月28日		
	8月25日		
補講	10月20日	加賀藩の魚問屋と振売商人	塩崎 久代
	11月10日		
後期	1月20日	加賀藩の魚問屋と振売商人	塩崎 久代
	1月27日		

*5月26日、8月25日は延期し、10月20日、11月10日に補講を実施した。



令和3年度 古文書講座 後期 第1回

(5) 博学連携事業

◆学習用資料貸出事業

歴史をより身近に感じてもらうため、学校や教育関係機関に当館所蔵のレプリカ資料を貸し出している。

貸出先学校・施設	貸出期間	資料名(数量)
能美ふるさとミュージアム	令和3年10月12日～22日	複製装飾付大刀(1点)、王冠(1点) 銅鏡(1点) レプリカ 計3点

◆職場体験事業受け入れ事業

例年は職場体験(中学生)・インターンシップ(大学生)を受け入れているが、令和3年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となった。

(6) ワークショップ(無料/一部を除いて事前申込制)

令和3年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止した。

	実施日	テーマ	参加人数
1	令和3年5月1日(土)～ 令和3年5月5日(水)	古郵シールを使って花鳥画を描いてみよう	中止
2	令和3年6月5日(土)	紙版画(紙ドライポイント)にチャレンジしてみよう	中止

(7) 博物館実習

期間

令和3年10月14日(木)～10月18日(月)

実習生

山形県立米沢女子短期大学		
日本史学科		1人
日本大学	文理学部史学科	1人
富山大学	人文学部人文学科	1人
金沢学院大学	文学部文学科	3人
	科目等履修生	1人
	合計	7人



月日	時間	実習内容
10月14日 (木)	9:00～9:10	開講式
	9:10～9:40	オリエンテーション
	9:50～10:50	歴史博物館の使命と業務
	11:00～12:00	館内施設見学
	13:00～16:30	歴史資料の取り扱い実習
10月15日 (金)	16:30～17:00	実習ノート作成
	9:00～12:00	考古資料の取り扱い実習
	13:00～16:30	美術品の取り扱い実習
10月16日 (土)	16:30～17:00	実習ノート作成
	9:00～10:50	民俗資料の取り扱い実習
	11:00～12:00	博物館資料の保存修復
10月17日 (日)	13:00～16:30	展示評価実習
	16:30～17:00	実習ノート作成
	9:30～9:50	博物館の教育普及活動
	10:00～12:00	資料整理実習
	13:00～13:50	博物館の文化財保存環境
10月18日 (月)	14:00～16:30	資料梱包実習
	16:30～17:00	実習ノート作成
	9:00～12:00	写真撮影実習
	13:00～15:00	展示評価実習
15:10～16:30		質疑応答・総評・閉講式
	16:30～17:00	実習ノート作成

(8) れきはくメイトの運営

令和3年度

会員年齢構成

年齢層	性別		合計	%
	男	女		
～10代	0人	0人	0人	0%
20代	1	0	1	0.5
30代	2	3	5	2.6
40代	4	3	7	3.6
50代	11	7	18	9.3
60代	18	18	36	18.7
70代	60	37	97	50.3
80代	25	2	27	14
90代～	1	0	1	0.5
不明	0	1	1	0.5
合計	122人	71人	193人	100.0%

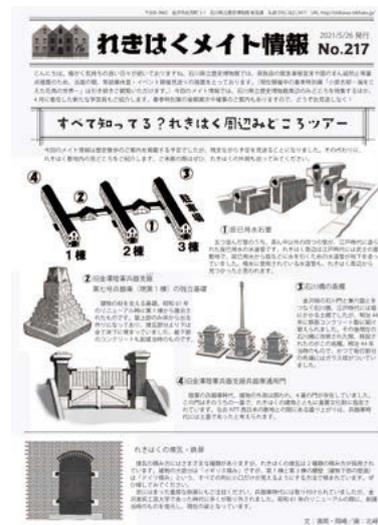
会員住居地区別構成

地区名	人数	地区名	人数	地区名	人数
(県内)		羽咋市	1	(県外)	
金沢市	131	七尾市	0	富山県	4
加賀市	1	中能登町	0	福井県	1
小松市	8	能登町	2	愛知県	1
白山市	17	輪島市	1	埼玉県	1
能美市	3	珠洲市	0	兵庫県	1
川北町	0	志賀町	0	東京都	2
野々市市	4	穴水町	0	福島県	1
内灘町	3				
津幡町	5	県内		県外	
かほく市	4	(小計)	182	(小計)	11
宝達志水町	2			総計	193

れきはくメイト情報の発行

号数	発行日	主な内容
216号	4月19日	春季特別展「小原古邨—海をこえた花鳥の世界」
217号	5月26日	歴博周辺の紹介、新しい学芸員紹介
218号	7月2日	夏季特別展「大加州刀展」、兼六園周辺の怪談
219号	8月30日	秋季特別展「徳川美術館展 尾張徳川家の至宝」
220号	10月22日	秋季特別展「徳川美術館展 尾張徳川家の至宝」後期展示、秋季特別展ゆかりのお寺紹介
221号	12月2日	休館のお知らせ、学芸員のおすすめ図書
222号	2月4日	休館のお知らせ、学芸員のおすすめ図書、いしかわ歴史グルメ、入会案内

メイト情報 217号



*令和3年度の会員向けイベント（歴史散歩等）は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した。

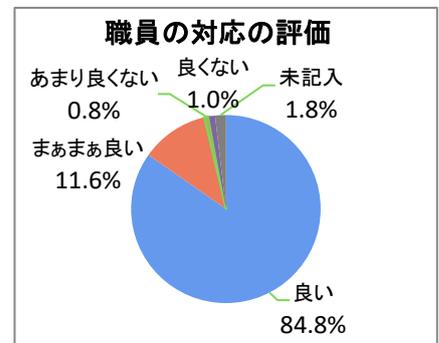
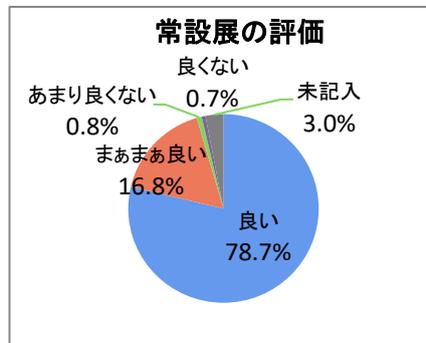
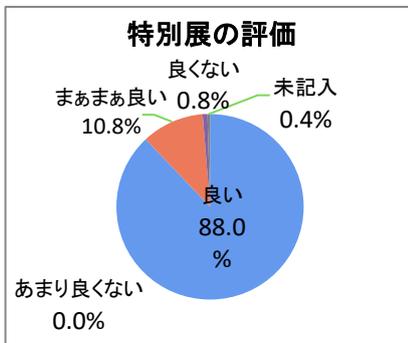
(9) れきはくボランティア

市民の交流や協働、生涯学習の場として開かれた博物館を目指し、平成18年度より学校団体見学が増加する春季・秋季にそれぞれ募集し、「歴史体験ひろば」内で主に小・中学生を対象に解説、体験学習の補助を行ってきた。令和2年度より引き続き、「歴史体験ひろば」の閉室および新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から活動を中止した。

(10) 入館者調査(アンケート)

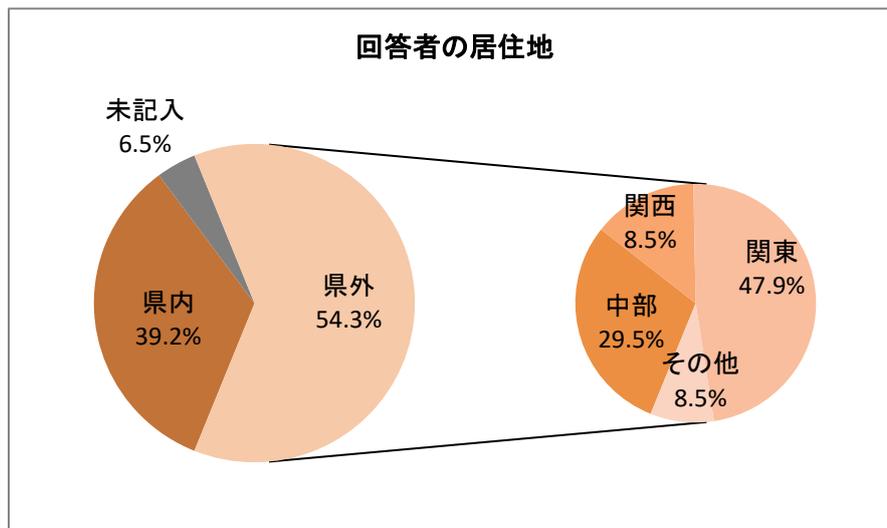
年間を通し、アンケート用紙に記入する方式で、来館者調査を行った。来館者に展覧会および博物館の評価と、来館者の情報を記入してもらった。評価は良い、まあまあ良い、あまり良くない、良くない の選択式と自由記述により、特別展の開催期間中は特別展と常設展について、それ以外の期間は常設展のみについて回答してもらった。下はその評価と、回答者の居住地を表・グラフにしたものである。

特別展の評価	良い	まあまあ良い	あまり良くない	良くない	未記入	回答数 (%)
春季特別展	25 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	25 100.0%
夏季特別展	131 94.2%	8 5.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.7%	140 100.0%
秋季特別展	56 73.7%	18 23.7%	0 0.0%	2 2.6%	0 0.0%	76 100.0%
計 (%)	212 88.0%	26 10.8%	0 0.0%	2 0.8%	1 0.4%	241 100.0%
常設展の評価	470 78.7%	100 16.8%	5 0.8%	4 0.7%	18 3.0%	597 100.0%
職員の対応の評価	506 84.8%	69 11.6%	5 0.8%	6 1.0%	11 1.8%	597 100.0%



回答者の居住地

県内	県外	未記入	中部	関西	関東	その他	計
324 54.3%	234 39.2%	39 6.5%	69 29.5%	33 14.1%	112 47.9%	20 8.5%	597 100.0%



5. 入館者状況

(1)令和3年度 いしかわ赤レンガミュージアム(歴史博物館・加賀本多博物館)入館者状況

歴史博物館

	有料						無料			小計	合計 (カウンター数)
	常設展			特別展	計	常設展	特別展	計			
	歴博単独券	本多共通券	計								
4月	390	471	861	春	920	1,781	1,099	193	1,292	3,073	10,071
5月	374	442	816		3,200	4,016	506	494	1,000	5,016	10,484
6月	348	203	551		4,839	5,390	493	770	1,263	6,653	12,801
7月	369	518	887	夏	2,763	3,650	949	383	1,332	4,982	12,695
8月	0	0	0		0	0	0	0	0	0	5,277
9月	0	0	0		0	0	0	0	0	0	2,715
10月	745	471	1,216	秋	5,815	7,031	3,906	742	4,648	11,679	23,319
11月	1,254	753	2,007		6,423	8,430	3,270	896	4,166	12,596	24,157
12月	436	435	871		0	871	532	0	532	1,403	4,409
1月	351	418	769		0	769	496	0	496	1,265	5,554
2月	329	383	712		0	712	298	0	298	1,010	4,844
3月	574	706	1,280		0	1,280	619	0	619	1,899	6,427
年計	5,170	4,800	9,970		23,960	33,930	12,168	3,478	15,646	49,576	122,753

歴史博物館 特別展のみ入場内訳

特別展名	有料	無料	特別展計
春季特別展	8,959	1,457	10,416
夏季特別展	2,763	383	3,146
秋季特別展	12,238	1,638	13,876
計	23,960	3,478	27,438

(2)小・中・高等学校地区別入館者数

※個人を含む

地区	校種	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	入館者の割合
		校	人	校	人	校	人	校	人		
加賀地区(野々市市・白山市以南)		27	1,506	7	140	0	12	1	6	1,664	27
金沢		19	1,133	15	825	7	239	2	8	2,205	36
能登地区(河北郡以北)		8	352	6	137	0	7	0	0	496	8
富山県		8	254	4	71	0	0	0	0	325	5
福井県		0	7	0	1	0	1	0	0	9	0
その他		3	310	9	496	6	577	0	0	1,383	23
合計		65	3,562	41	1,670	13	836	3	14	6,082	100

Ⅱ. 施設概要

1. 設備概要

●受変電設備	受電電圧 6.6kV 変圧器容量 800kVA
●発電機設備	ディーゼル機関 1800mi ⁻¹ 発電機 300kVA 3相交流
●蓄電池設備	ベント型効率放電用ペースト式 据置型鉛蓄電池H-200A 54セル
●動力設備	動力設備 648kVA (一般 311kVA[エレベーター含] 24h負荷215kVA 防災負荷122kVA)
●電灯設備	照明器具 352台 (展示室内照度最高 150Lx 執務室内照度最高 750Lx)
●照明設備	展示室内 LED 、執務室・バックヤード [※] 高効率型蛍光灯・一般型蛍光灯
●構内交換設備	192回線 (局線 1回線/INS1回線/多機能28回線/内線21回線)
●放送設備	防災アンプ 480W / 3棟用アンプ 30W
●I T V設備	ネットワークカメラ 屋内40台 モニター32型
●テレビ・ラジオ共聴設備	アンテナ UHF -20EL
●来客カウンター設備	カウンター 8回線 / 3棟用 4回線 センサー 1棟4箇所 / 2棟1箇所 / 3棟1箇所(本多蔵品館1箇所)
●自動火災報知設備	GR型受信機(アナログ式、自動試験機能) 表示監視0A卓 19型TFTカラー
●給水設備	便所の便器洗浄系統……加圧給水方式 手洗い・飲料系統……市水直結方式
●給湯設備	電気温水器による局所方式
●排水設備	建物内分流方式、公共下水道放流
●消火設備	屋内消火栓……第一棟、第二棟 ハロゲン消火……第二棟の特別収蔵室、古文書室 スプリンクラー……第三棟
●排煙設備	機械排煙……第一棟、第二棟、第三棟 (3系統)
●融雪設備	井水散水方式、電熱線方式
●昇降機設備	第一棟……機械室レス、身障者用、13人乗り 第一棟、第二棟……油圧式、荷物・身障者併用、2.1t (2基) 第三棟……小型機械室レス、4人乗り
●空調設備	保存空調条件 Aランク収蔵 ・収蔵庫 21±1℃ RH55±5% ・企画展示室、特別展示室 21±1℃ RH60±5% 季節展示物による 空調方式 Aランク保存展示系統 ・変風量単一ダクト方式 ・第1棟. . . 企画展示室、特別展示室 ・第2棟. . . 収蔵庫 ・第3棟. . . 収蔵庫 一般系統 ・第1棟. . . ファンコイル外気処理併用方式

- ・第2棟. . . ファンコイル外気処理併用方式・変風量単一ダクト方式
- ・第3棟. . . ファンコイル外気処理併用方式・変風量単一ダクト方式
- ・渡り廊下(ほっとサロンを含む)
空冷ヒートポンプ・ペリメーター電気ヒーター・床暖房併用方式

熱源

- ・Aランク保存展示系統（冷水+温水・・・蓄冷+蓄暖）
水冷モジュールチラー264KW ×2モジュール
無圧温水ヒーター116KW ×2モジュール都市ガス仕様
冷水槽56m³・温水槽84m³
- ・一般系統（冷温水・・・密閉）
冷温水発生機150RT(50×3) 527KW 都市ガス仕様
- ・一般系統（空冷ヒートポンプエアコン）
空冷ビル用マルチエアコン 冷房能力165KW/暖房能力183KW
空冷パッケージエアコン 冷房能力10KW/暖房能力11.2KW

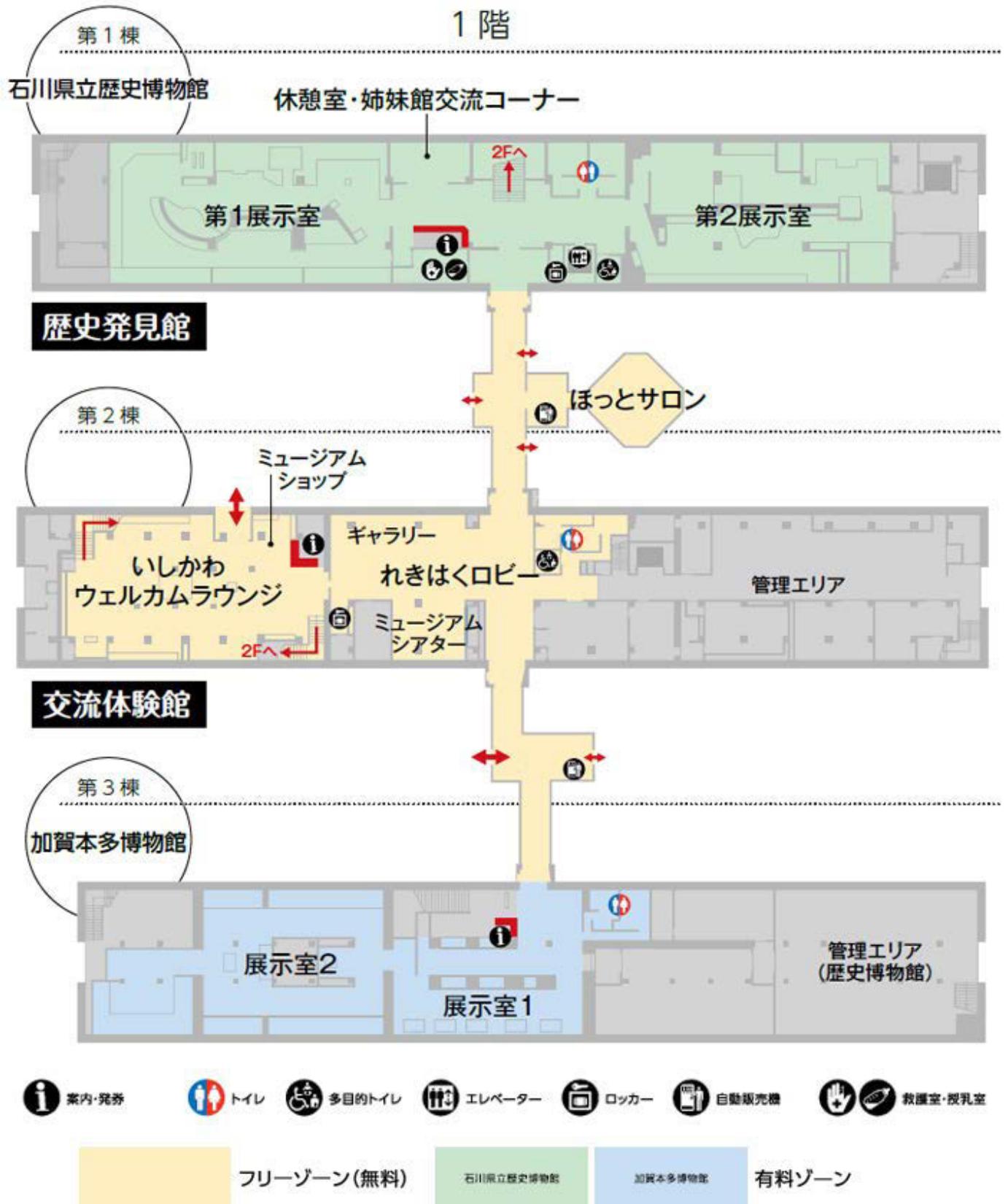
2. 各棟室面積一覧

2015/6/11

管轄	部門	階別	展示室		収蔵スペース		共用区分		機械室分		計	
			室名	面積(m ²)	室名	面積(m ²)	室名	面積(m ²)	室名	面積(m ²)	階別	延べ
歴博	第一棟	1階	常設展示室1	396.19	第一倉庫	13.12	ほっとサロン	65.06	空調機械室1	34.92	1480.55	2767.83
			常設展示室2	364.21			渡り廊下1	99.18	空調機械室2	50.35		
							ホール	121.69	ファンルーム	11.47		
							その他	307.71	EV機械室	16.66		
			計	760.40	計	13.12	計	593.64	計	113.40		
		2階	企画展示室	274.42	第二倉庫	13.12	ホール	135.64	空調機械室3	37.23	1287.28	
			企画展示室準備室	114.20	第三倉庫	17.85	その他	162.28	サーバールーム1	5.95		
			特別展示室	409.63	第四倉庫	6.01			サーバールーム2	2.99		
			特別展示室準備室	44.53	第五倉庫	17.62			サーバールーム3	4.17		
			控室	19.16	機材倉庫	19.71			サーバールーム4	2.78		
	計		861.94	計	74.30	計	297.92	計	53.12			
	第二棟	1階	SHIKAWAの活動空間	310.29	倉庫A(1F)	18.04	渡り廊下2	100.25	中央機械室	199.58	1416.77	
			れきはくびと	250.57	倉庫B(1F)	7.50	館長室	51.88	受変電室	45.97		
			(うちまきやうり)	(76.22)	倉庫C(1F)	6.50	副館長室	28.51	発電室	39.32		
			(うちまきやうり)	(45.77)	倉庫D(1F)	1.62	事務室	51.20	サーバールーム	14.47		
							警備室	17.46	消火ポンプ室	9.97		
							その他	250.17	EV機械室	13.48		
			計	560.86	計	33.66	計	499.46	計	322.79		
		2階	歴史体験広場(多目的ホール)	171.20	特別収蔵室	160.39	研究室	115.47	ファンルーム	13.31	1304.99	
			情報コーナー	93.96	古文書室	54.46	閲覧室	19.40				
			ワークショップスペース	146.81	文献図書室	49.02	解説員室	56.23				
					フィルム保管室	29.71	ボランティア室	18.37				
					倉庫A(2F)	21.78	その他	319.23				
					倉庫B(2F)	21.74						
計			411.97	計	351.01	計	528.70	計	13.31			
第三棟	1階			第1収蔵室	152.34	その他	60.23	機械室1	52.66	602.56		
				第2収蔵室(1階)	270.57			機械室2	55.14			
								ボリカクボックス室	11.63			
	計	0.00	計	422.91	計	60.23	計	119.42				
	2階			第2収蔵室(2階)	529.06	その他	20.84			549.90		
計	0.00	計	529.06	計	20.84	計	0.00					
本多蔵品館	第三棟	1階	本多蔵品館展示室1	266.57			その他	45.83			646.52	
			本多蔵品館展示室2	334.11								
			計	600.69	計	0.00	計	45.83	計	0.00		
	2階	準備室	90.23	本多蔵品館収蔵室	153.93	事務室	28.52				450.81	
						会議室	78.18					
計	90.23	計	153.93	計	206.65	計	0.00					
クリップ		1階				6.90						
合計			展示合計	3286.08	収蔵合計	1577.99	共用合計	2253.27	機械合計	622.05	7746.28	

敷地面積	26791.46
------	----------

3. 館内平面図



2階

第1棟

石川県立歴史博物館



歴史発見館

休憩室

第2棟

歴史体験ひろば
多目的ホール

情報
コーナー

ワーク
ショップ
ルーム

管理エリア

交流体験館

第3棟

加賀本多博物館



案内・発券



トイレ



多目的トイレ



エレベーター



ロッカー



自動販売機



救護室・授乳室



フリーゾーン(無料)



石川県立歴史博物館

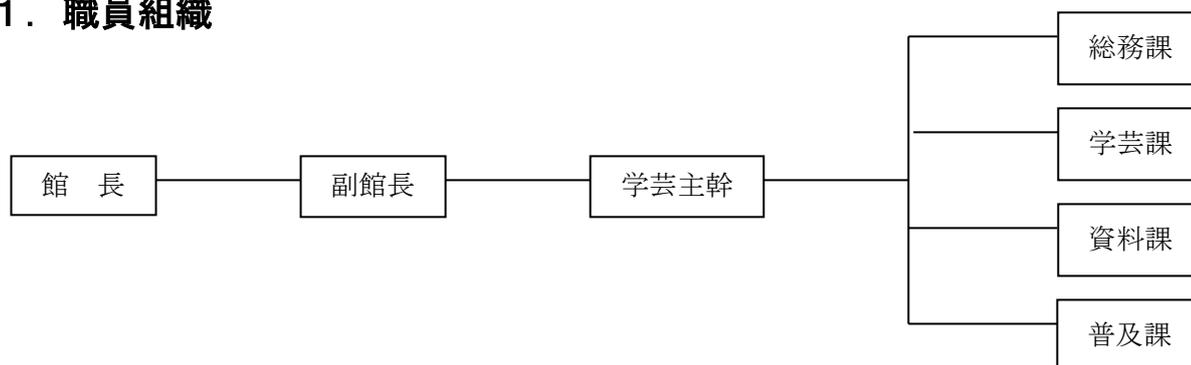


加賀本多博物館

有料ゾーン

Ⅲ. 組織と運営

1. 職員組織



2. 職員名簿

令和3年度（令和3年4月1日現在）

館長（非常勤嘱託）	藤井 譲治	学芸課	普及課
副館長（〃）	宮崎 良則	学芸課長兼学芸主幹（技術）（併）大門 哲	課長（技術）（併）鶴野 俊哉
学芸主幹（〃）（技術）	北 春千代	（本務 教育委員会、兼白山ろく民俗資料館）	（本務 教育委員会）
		学芸主査 大井 理恵	担当課長（〃）永井 浩
		（兼白山ろく民俗資料館）	（本務 教育委員会）
		学芸員 中村真菜美	学芸主任（〃）塩崎 久代
		〃 吉田 朋生	（本務 教育委員会）
		非常勤嘱託 前多 令子	学芸主任 岡崎 道子
			非常勤嘱託 北崎 美沙子
総務課		資料課	
課長（事務）	栗 知之	学芸主幹兼課長(再)(技術) 濱岡 伸也	
企画管理専門員（〃）	大畠 雅野	学芸専門員（〃）三浦 俊明	
企画管理専門員（〃）	藤永 太郎	学芸主任(併) 石田 健	
企画管理専門員（〃）	新出 秋江	（本務 教育委員会、兼石川四高記念文化交流館）	
非常勤嘱託	山田ゆかり	学芸員 野村 将之	
		非常勤嘱託 片桐 佳奈	

3. 予算及び決算 ※定数内職員費を除く。 (単位：千円)

事業名	令和3年度		
	当初予算額	最終予算額	決算額
運営費	72,214	70,814	69,921
案内解説事業費	19,084	16,889	16,871
展示費	54,139	38,608	38,287
調査普及費	17,728	16,839	16,289
資料整備費	1,600	1,600	1,589
国際交流費	0	0	0
施設整備費	72,616	56,044	55,335
計	237,381	200,794	198,292

4. 事務分掌

令和3年度(令和3年4月1日現在)

総務課	
1	課内事務の統括に関する事。
2	出納事務に関する事。
3	諸規定の運営に関する事。
4	防犯及び防災計画に関する事。
5	運営審議会の連絡調整に関する事。
6	他の課に属しない事務に関する事。
7	予算・決算に関する事。
8	委託等契約事務に関する事。
9	財産の維持及び管理に関する事。
10	情報政策推進員業務に関する事。
11	物品及び収入・支出経理に関する事。
12	文書管理事務に関する事。
13	公用車の運転及び整備に関する事。
14	県庁、分室及び銀行、周辺文化施設等との事務連絡に関する事。
15	職員の服務及び給与、旅費等に関する事。

学芸課	
1	学芸活動の企画・調整に関する事。
2	姉妹館との交流及び協力並びに展示・共同研究に関する事。
3	常設展の調整・改善に関する事。
4	特別展及び企画展の企画・調整に関する事。
5	展示室の視聴覚機械の保守・管理に関する事。
6	石川の歴史遺産セミナーに関する事。
7	紀要の作成に関する事。
8	貸館の企画・調整に関する事。
9	寄贈図書等の受入・整理に関する事。
10	文化財情報の収集・整理に関する事。
11	その他学芸補助に関する事。

資料課	
1	資料の調査・受入に関する事。
2	資料の保存・修理に関する事。
3	資料の複製・模型に関する事。
4	資料の貸与及び特別利用に関する事。
5	借用資料のとりまとめに関する事。
6	収蔵品の保全・管理に関する事。
7	コレクション展に関する事。
8	運営審議会・資料評価部会に関する事。
9	博物館実習に関する事。

普及課	
1	普及事業の企画・調整に関する事。
2	学校教育との連携に関する事。
3	社会教育機関との連携に関する事。
4	県民大学校に関する事。
5	ホームページに関する事。
6	広報活動の企画・実施に関する事。
7	れきはくメイトに関する事。
8	入館者の動向調査に関する事。
9	ボランティアに関する事。
10	年報・館利用案内・年間行事予定の発行に関する事。
11	石川れきはく編集・発行に関する事。
12	各種印刷物の発送に関する事。

この他、学芸関係職員はそれぞれの専門的分野を通して、関連業務および常設展、企画展、特別展等の企画、運営および特別展に関わる図録等の作成にあたることとする。

5. 各種委員会

(1) 運営審議会

石川県立歴史博物館運営審議会設置要綱

(目的)

第1条 石川県立歴史博物館(以下「博物館」という。)の円滑かつ適正な運営を図るため、石川県立歴史博物館運営審議会(以下「運営審議会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 運営審議会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 博物館の運営に関すること。
- (2) 博物館長の諮問に対する答申。
- (3) 博物館長に対する意見具申に関すること。
- (4) 博物館が取得しようとする資料の学問的及び価格に関すること。
- (5) その他、特に必要と認められること。

(組織)

第3条 運営審議会は、20名以内の委員をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、教育委員会との協議を経て、知事が委嘱する。

- (1) 社会教育関係者
- (2) 学校教育関係者
- (3) 学識経験者

3 委員は、互選によって会長及び副会長を定める。

4 会長は、議長となり会議を主宰し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、副会長がその職務を行う。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

(会議)

第5条 運営審議会の会議は、会長が召集する。

2 運営審議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

(専門部会)

第6条 運営審議会には、博物館が取得しようとする資料の学問的評価及び価格(以下「資料の評価等」という。)に関し審議する専門部会(以下「資料評価専門部会」という。)を置く。

2 資料評価専門部会に関する必要な事項は、別に定める。

(事務局)

第7条 運営審議会の事務は博物館において処理する。

(雑則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、運営審議会の運営について必要な事項は、別に定める。

附則

この要綱は、平成8年4月1日から施行する。

委員名簿(13名)

(令和3年4月1日現在)

氏名	役職	委員の構成	備考
東四柳 史明	金沢学院大学名誉教授	学識経験者	資料評価専門部会員
小嶋 芳孝	石川考古学研究会会長	〃	資料評価専門部会員
東 澄子	元石川県立美術館学芸主幹	〃	資料評価専門部会員
太田 昌子	金沢美術工芸大学名誉教授	〃	
笠井 純一	金沢大学名誉教授	〃	
小林 忠雄	加能民俗の会会長	〃	資料評価専門部会員
木越 隆三	金沢城調査研究所長	〃	資料評価専門部会員
中江 暢江	金沢市教育委員会生涯学習部長	〃	
能木場 由紀子	石川県婦人団体協議会会長	社会教育関係者	
小嶋 勝	石川県小学校長会	学校教育関係者	
新田 寛子	石川県中学校長会	〃	
釜親 明子	石川県高等学校長会	〃	

6. 入場料について

(1)入場料の徴収(常設展)

入場料の徴収区分(歴史博物館)[常設展](平成27年4月17日より)

区分	一般(18歳以上の者)
	大学の学生及びこれに準ずる者
※()は20人以上の団体料金	

300円(240円) …18歳未満は高校生でなくても無料である。
240円(190円) …大学生、短大生、専門学校生など学校教育法に基づく許可を受けている学校の学生。
(年令不問ただし証明するものがあること)

(2)入場料の減免基準

項目 (減免基準)	歴史博物館	
	特別展	常設展
小学校、中学校、高等学校 及び 特別支援学校 が教育課程に基づき教育活動として入場するとき	児童・生徒	無料
	引率者	無料
入館を予定する学校団体の教師 (下見)	無料	無料
ボーイスカウト、少年スポーツ団体、学童保育機関等の引率者及び付添者 (事前に申し出た場合に限る)	無料	無料
幼稚園、保育園等の団体の引率者	無料	無料
65歳以上の方	団体料金	団体料金 (祝日は無料)
身体障害者手帳 又は 療育手帳 又は 精神保健福祉手帳 を所持する方 又は 障がい者手帳アプリ「ミライロID」をご提示の方	無料	無料
上記1付添者 (手帳所持者1人につき1名、団体の付添者は全員)	無料	無料
県内に居住する生活保護法に基づく生活扶助又は教育扶助を受けている方	無料	無料
社会福祉施設 (石川県社会福祉協議会に加入している施設) の入所者、通所者	団体料金	団体料金 (祝日は無料)
上記1付添者 (手帳所持者1人につき1名、団体の付添者は全員)	無料	無料
石川県立歴史博物館 れきはくメイト会員証 を所持する方	団体料金	無料
いしかわ文化の日 (毎年10月の第3日曜日) に入場する石川県民 石川県民であることを証するもの(運転免許証など)を提示された方	団体料金	無料
兼六園周辺文化の森の相互割引 対象施設 (国立工芸館、石川県立美術館、いしかわ生活工芸ミュージアム、金沢21世紀美術館、金沢市立中村記念美術館、金沢ふるさと偉人館) 主催展覧会(会期中)のチケット半券所持者の方	団体料金	団体料金
石川県立美術館、石川県立輪島漆芸美術館、石川県七尾美術館、珠洲市珠洲焼資料館 友の会会員証 を所持する方	団体料金	団体料金
石川県博物館協議会 会員証 を所持する方 と 同伴者1名まで	無料	無料
日本博物館協会 会員証 を所持する方 と 同伴者1名まで	無料	無料
KGGN(金沢グッドウィルガイドネットワーク)の身分証明書 を所持する方	無料	無料
タクシー、観光バスの運転手、乗務員、添乗員 及び ボランティアガイド‘まいどさん’で 観覧者と同行して入場する方 (通訳を含む)	無料	無料
兼六園・文化施設共通利用券「兼六園プラス1利用券」を所持する方	団体料金	無料
金沢市文化施設共通観覧券(1DAY、3日間、1年間パス) を所持する方	団体料金	団体料金
いしかわ観光旅パスポート を所持する方	—	団体料金
「婚パス(石川しあわせ婚応援パスポート)・婚パスお試しクーポン」を所持する方	—	団体料金
「いしかわ移住パスポート(Iパス)」を所持する方 と ご家族全員	—	団体料金
加賀百万石回遊ルート「SAMURAIパスポート」を所持する方	—	無料
「金沢・加賀・能登ぐるりんパス」(JR) を所持する方	団体料金	無料
「金沢市内1日フリー乗車券」(北鉄バス) を所持する方	団体料金	団体料金
金沢コンベンションビューロー指定の大会等に参加し、指定の半券所持者の方 と 同伴者1名まで	団体料金	団体料金
「学パス(学生のまちパスポート)」を所持、 又は「かなざわ学パス」アプリ画面 及び 学生証を提示された方	—	無料
「IJSPパス」を所持する方 ※Ishikawa Japanese Studies Program	—	無料
JAPAN TENT (ジャパントेंट)の留学生・研修生の方	無料	無料
いしかわ観光特使・かなざわ縁(ゆかり)のひと に任命された方	無料	無料

※上記は、展示内容等により変更する場合があります

IV. 関係条例・規則

1. 学校以外の教育機関等設置に関する条例 (昭和 32 年 3 月 27 日条例第 14 号)

(設置)

第 1 条 地方自治法 (昭和 22 年法律第 67 号) 第 244 条第 1 項、図書館法 (昭和 25 年法律第 118 号) 第 10 条、博物館法 (昭和 26 年法律第 285 号) 第 18 条及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律 (昭和 31 年法律第 162 号) 第 30 条の規定により、県に学校以外の教育機関等及びその他の施設を設置する。

(名称、位置及び事業内容)

第 2 条 前条の教育機関等の名称、位置及び事業内容は、次のとおりとする。

名 称	位 置	事 業 内 容
石川県立 歴史博物館	金沢市	歴史民俗文化財の収集、保管及び展示並びに歴史民俗文化財に関する調査研究及び指導に 関すること。

備考 石川県立歴史博物館の設置は、昭和 61 年 3 月 22 日条例第 24 号の改正による。

2. 石川県立歴史博物館管理規則 (平成 27 年 3 月 31 日石川県規則第 16 号)

(趣 旨)

第 1 条 この規則は、学校以外の教育機関等設置に関する条例 (昭和 32 年石川県条例第 14 号) 第 11 条の規定により、石川県立歴史博物館 (以下「歴史博物館」という。) の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第 2 条 歴史博物館の開館時間は、午前 9 時から午後 5 時までとする。ただし、展示室への入室は、午後 4 時 30 分までとする。

(休館日)

第 3 条 歴史博物館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 1 月 1 日から同月 3 日まで及び 12 月 29 日から同月 31 日まで
- (2) 資料の展示替え又は整理の期間

(開館時間の変更等)

第 4 条 前 2 条の規定にかかわらず、知事が特に必要があるとき認めるときは、臨時に開館時間を変更し、又は休館することができる。

2 前項の規定により開館時間を変更し、又は休館する場合は、その旨を歴史博物館の入口その他見やすい場所に掲示するものとする。

(入館の制限)

第 5 条 石川県立歴史博物館長 (以下「館長」という。) は、次の各号の 1 に該当する者に対しては、歴史博物館への入館を拒否することができる。

- (1) 他の入館者に迷惑を及ぼすおそれがある者
- (2) 他の入館者に危害を加え、又は歴史博物館の設備、器具若しくは展示品を損傷するおそれがある物品又は動物を携帯する者
- (3) 前 2 号に掲げる者のほか、歴史博物館の管理上支障があると認められる行為をするおそれがある者

(入館者の遵守事項等)

第 6 条 歴史博物館の入館者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 展示品に触れないこと (特に指定した展示品を除く。)
- (2) 展示品の近くでインキ、墨汁等を使用しないこと。
- (3) 館長の許可を受けないで、展示品の撮影、模写等をしないこと。
- (4) 館長の指定する場所以外で喫煙又は飲食をしないこと。
- (5) 寄付金の募集、物品の販売、広告物の配布、立看板の掲示その他これらに類する行為をしないこと。
- (6) 他の入館者に危害を加え、又は迷惑となる行為をしないこと。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、館長の指示した事項

2 館長は、入館者が前項の規定に違反したときは、その者に退去を命じ、又は必要な措置をとることができる。

(特別利用の許可等)

第 7 条 歴史博物館が所蔵する資料 (以下「所蔵品」という。) の閲覧、模写、模造、撮影又は写真原板使用等 (以下これらを「特別利用」という。) をしようとする者は、別記様式第 1 号による申請書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

※別記様式第 1 号は省略

2 前項の場合において、所蔵品でないもの又は他に著作権があるものについては、それぞれ当該所有者又は著作権者の同意を得た書面を添付しなければならない。

3 館長は、第 1 項の許可に歴史博物館の管理上必要な条件を付すことができる。

4 館長は、第1項の許可を受けた者が前項の規定により付された許可の条件に違反した場合には、当該許可を取り消し、又は当該許可に係る特別利用を停止させることができる。

(施設の使用許可)

第8条 歴史博物館の施設(特別展示室、企画展示室、ギャラリーに限る。)を使用しようとする者は、使用しようとする日の1年前から1月前までに別記様式第2号による申請書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。ただし、館長が特別の事情があると認めるときは、この期間によらないことができる。

※別記様式第2号は省略

2 前項の許可は、館長が歴史博物館の事業活動に支障がないと認める場合にするものとする。

3 前条第3項の規定は、第1項の許可に準用する。

(施設使用の制限)

第9条 館長は、前条第1項本文の規定による申請が次のいずれかに該当する場合には、同項の許可をしないことができる。

- (1) 館内の秩序又は風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
- (2) 営利のみを目的とするおそれがあると認められるとき。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、歴史博物館の管理上支障があると認められるとき。

(施設使用の変更)

第10条 第8条第1項の許可を受けた者(以下「使用者」という。)が当該許可に係る事項の変更をしようとするときは、別記様式第3号による申請書に同項の許可に係る許可書を添えて館長に提出し、その許可を受けなければならない。

※別記様式第3号は省略

(使用者の使用取消し)

第11条 使用者が施設の使用を取り消すときは、別記様式第4号による届出書に第8条第1項の許可に係る許可書を添えて、速やかに、館長に提出しなければならない。この場合において、前条の規定による変更の許可を受けていた場合は、当該変更に係る許可書を添えてしなければならない。

※別記様式第4号は省略

(使用権の譲渡等の禁止)

第12条 使用者は、使用の権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(施設の変更の禁止)

第13条 使用者は、施設に変更を加え、又は特別の設備を設けてはならない。ただし、あらかじめ、館長の承認を受けたときは、この限りでない。

(使用者の遵守事項)

第14条 使用者は、前2条に規定するもののほか、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 許可を受けた目的外に使用しないこと。
- (2) 使用許可を受けた施設(以下「使用許可施設」という。)以外の施設に立ち入らないこと。
- (3) 館長の許可を受けずに寄付金の募集、物品の販売、広告物の配布、立看板の掲示その他これらに類する行為をしないこと(第三者をして行わせる場合を含む。)
- (4) 第5号各号のいずれかに該当する者に対しては、使用許可施設への入場を拒否すること。
- (5) 使用許可施設の入場者に第6条第1項各号に掲げる事項を守らせ、及び当該事項を守らない者があるときは、その者を退場させ、又は必要な措置を講ずること。
- (6) 火災、盗難、人身事故その他の事故防止に努めること。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、館長の指示した事項

(施設使用許可の取消し)

第15条 使用者が次のいずれかに該当する場合には、館長は、第8条第1項の許可を取り消すことができる。

- (1) 虚偽の申請により許可を受けたことが判明したとき。
- (2) 第8条第3項において準用する第7条第3項の規定により付された許可の条件に違反したとき。
- (3) 第9条各号のいずれかに該当すると認められたとき。
- (4) 第10条から前条までの規定に違反したとき。

(館長の指示等)

第16条 館長は、歴史博物館の秩序の維持及び施設の管理上必要があると認めるときは、使用者に対し、施設の使用に関して指示をし、又は職員を使用中の施設に立ち入らせその使用状況を調査させることができる。

(原状回復)

第17条 使用者は、施設の使用を終了したときは、その使用に係る施設を直ちに原状に回復し、館長に届け出てその点検を受けなければならない。第15条の規定により使用の許可を取り消されたときも同様とする。

(施設使用終了の報告)

第18条 使用者は、施設の使用を終了したときは、速やかに、別記様式第5号による報告書を館長に提出しなければならない。

※別記様式第5号は省略

(損害賠償)

第19条 館長は、歴史博物館の施設、設備、展示品等を故意又は過失によりき損又は滅失した者に対して、その損害を賠償させることができる。

(所蔵品の貸出し)

第20条 館長は、所蔵品を他の博物館又はこれに準ずるものに貸し出すことができる。公益事業の用に供するときも同様とする。

2 館長は、前項の規定により所蔵品の貸出しを行う場合において、当該所蔵品が文化財保護法（昭和25年法律第214号）又は石川県文化財保護条例（昭和32年石川県条例第41号）の規定による指定を受けた文化財であるときは、教育委員会教育長の承認を受けなければならない。

（資料の受託）

第21条 館長は、資料の保管の委託を受けるときは、知事の承認を受けなければならない。

（雑則）

第22条 この規則に定めるもののほか、歴史博物館の管理運営について必要な事項は、別に定める。

附則

この規則は、公布の日から施行する。

附則（平成18年6月30日規則第43号）

この規則は、公布の日から施行する。

附則（平成27年3月31日規則第16号）

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

3. 石川県立歴史博物館使用料条例 (平成 27 年 3 月 23 日条例第 7 号)

(趣 旨)

第 1 条 この条例は、石川県立歴史博物館（以下「歴史博物館」という。）の使用料に関し必要な事項を定めるものとする。

(使用料)

第 2 条 この条例において「使用料」とは、入場料及び施設使用料をいう。

(入場料)

第 3 条 知事は、展示資料を観覧するため歴史博物館へ入館する者から入場料を徴収する。

2 入場料の額は、別表 1 のとおりとする。

(施設使用料)

第 4 条 知事は、歴史博物館の施設の使用の許可を受けた者（別表 2 において「使用者」という。）から施設使用料を徴収する。

2 施設使用料の額は、別表 2 のとおりとする。

(使用料の納付等)

第 5 条 使用料は、前納しなければならない。ただし、知事は、相当の理由があると認めるときは、使用料の全部又は一部を後納させることができる。

2 既納の使用料は、返還しない。ただし、知事が返還することを相当と認めたときは、その全部又は一部を返還することができる。

3 知事は、特に必要があると認めるときは、使用料を減免することができる。

(規則への委任)

第 6 条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

1 この条例は、規則で定める日から施行する。ただし、附則第 2 項の規定は昭和 61 年 4 月 1 日から施行する。(昭和 61 年 10 月規則第 43 号で、同 61 年 10 月 25 日から施行)

2 石川県立郷土資料館入場料条例 (昭和 43 年石川県条例第 38 号) は、廃止する。

附 則 (平成元年 3 月 24 日条例第 5 号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成元年 4 月 1 日から施行する。(後略)

附 則 (平成 18 年 6 月 30 日条例第 29 号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平成 27 年 3 月 23 日条例第 7 号)

この条例は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

別表第 1 (第 3 条関係)

1 常設展示を観覧する場合

区 分	単 位	金 額	
		個人	団体(20人以上)
一 般 (18歳以上の者)	1人につき	300円	240円
大学の学生及び これに準ずる者	1人につき	240円	190円

2 特別展示を観覧する場合

1,500 円の範囲内で知事とその都度定める額

別表第 2(第 4 条関係)

1 使用者が観覧料、入場料その他これらに類する料金 (次項において「料金」という。) を徴収しない場合

区 分	単 位	施設利用料の額
特別展示室	1日につき	18,920円

2 使用者が料金を徴収する場合

前項の施設使用料の額に 100 分の 130 を乗じて得た額

3 企画展示室に係る使用料の額については、第 2 項の施設使用料の例により知事とその都度定める。

備考

1 「1 日」とは、午前 9 時から午後 5 時までをいう。

2 使用時間が 1 日の時間に満たない場合の施設使用料の額は、当該 1 日の施設使用料の額とする。

4. 石川県立歴史博物館使用料条例施行規則 (平成 28 年 3 月 25 日 規則第 9 号)

(趣 旨)

第 1 条 この規則は、石川県立歴史博物館使用料条例 (昭和 61 年石川県条例第 26 号。以下「条例」という。) の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(入場券)

第 2 条 条例第 3 条第 1 項の規定により入場料を徴収したとき (前納したときに限る。) は、当該被徴収者に別記様式第 1 号に規定する入場券を交

付するものとする。

(使用料の後納)

第 3 条 条例第 5 条第 1 項ただし書きの規定により使用料を後納させることができる場合は、次のとおりとする。

- (1) 旅行業法 (昭和 27 年法律第 239 号) 第 3 条の規定による登録を受けた者との入場に係る契約に基づき入場させるとき。
- (2) その他石川県立歴史博物館長 (以下「館長」

という。)が特別の理由により必要と認めるとき。

この規則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

(使用料の返還)

第 4 条 条例第 5 条第 2 項ただし書きの規定により使用料を返還することができる場合及びその割合は、次のとおりとする。

- (1) 管理上の必要により、施設の使用の許可を取り消したとき。施設使用料の全額
- (2) 施設の使用許可を受けた者が使用開始前 10 日までに使用の取消しを届け出たとき。施設使用料の 100 分の 60 に相当する額
- (3) その他館長が特別の理由により必要と認めるとき。入場料又は施設使用料のうち館長が相当と認める額

2 前項の規定により使用料の返還を受けようとする者は、別記様式第 2 号に規定する使用料返還請求書に入場料の返還の場合にあつては、入場券を添えて、館長に提出しなければならない。

(使用料の減免)

第 5 条 条例第 5 条第 3 項の規定により使用料を減免することができる場合及びその割合は、次のとおりとする。

- (1) 小学校、中学校、義務教育諸学校、高等学校及び特別支援学校の児童又は生徒の引率者が教育課程に基づく教育活動として入場するとき。使用料の全額
- (2) 生活保護法（昭和 25 年法律第 144 号）に基づく生活扶助又は教育扶助を受けている者で県内に居住する者が入場するとき。使用料の全額
- (3) その他館長が特別の理由により必要と認めるとき。入場料又は施設使用料のうち館長が相当と認める額

2 前項の規定により入場料の減免を受けようとする者の取扱いについては、館長が別に定める。

附 則

この規則は、昭和 61 年 10 月 25 日から施行する。

附 則（平成元年 3 月 31 日規則第 25 号）

この規則は、平成元年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 7 年月 28 日規則第 33 号）

この規則は、平成 7 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 11 年 3 月 31 日規則第 35 号）

1 この規則は、公布の日から施行する。

2 この規則による改正前のそれぞれの規則の規定に基づき作成した用紙は、なお当分の間、所要の調整をして使用することができる。

附 則（平成 18 年 6 月 30 日規則第 41 号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成 19 年 3 月 30 日規則第 22 号）

この規則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 28 年 3 月 25 日規則第 9 号）

令和3年度(2021)

- 4月21日 休館(～4月23日まで)
 4月24日 春季特別展「小原古邨—海をこえた花鳥の世界—」開催(4月24日～6月27日まで)
 4月25日 記念講演会「小原古邨—光と雨の系譜を追って—」
 5月1日 ワークショップⅠ「古邨シールを使って花鳥画を描いてみよう」(5月1日～5月5日、中止)
 5月8日 石川の歴史遺産セミナー(5月8日・5月23日・5月30日・6月13日)(中止)
 5月9日 学芸員による展示解説①(中止)
 5月12日 県の緊急事態宣言発出を受けて常設展休室(～6月14日まで)
 5月14日 いしかわ歴史講座①(中止)
 5月16日 学芸員による展示解説②(中止)
 5月22日 れきはくゼミナール①(中止)
 5月24日 休館(～5月25日まで)
 5月26日 古文書講座前期①「米商人たちがみた武家社会」(延期)
 5月28日 いしかわ歴史講座②(中止)
 6月5日 ワークショップⅡ「紙版画(紙ドライポイント)にチャレンジしてみよう」(中止)
 6月12日 れきはくゼミナール②(中止)
 6月18日 いしかわ歴史講座③(中止)
 6月19日 春季特別展 展示解説
 6月20日 春季特別展 展示解説
 6月23日 古文書講座前期①「米商人たちがみた武家社会」
 6月26日 れきはくゼミナール③
 6月27日 春季特別展 展示解説
 7月9日 いしかわ歴史講座④
 7月17日 れきはくゼミナール④
 7月22日 夏季特別展「大加州刀展」開催(7月22日～7月30日まで)
 7月24日 記念講演会「加州の名刀を語る」
 7月28日 古文書講座前期②「米商人たちがみた武家社会」
 7月31日 県のまん延防止等重点措置の発出を受けて臨時休館(～9月30日まで)
 8月6日 ナイトミュージアムコンサート(中止)
 8月7日 「大加州刀展」展示解説(中止)
 8月8日 夏季特別展開連イベント「正伝 長尾流剣術演武」(中止)
 8月21日 れきはくゼミナール⑤(中止)
 8月25日 古文書講座前期③「米商人たちがみた武家社会」(延期)
 8月27日 いしかわ歴史講座⑤(中止)
 8月28日 「大加州刀展」展示解説(中止)
 9月4日 れきはくゼミナール⑥(中止)
 9月10日 いしかわ歴史講座⑥(中止)
 9月18日 れきはくゼミナール⑦(中止)
 9月24日 いしかわ歴史講座⑦(中止)
 10月1日 いしかわ歴史講座⑧(中止)
 10月7日 休館(～10月8日まで)
 10月9日 秋季特別展「徳川美術館展 尾張徳川家の至宝」開催(10月9日～11月23日まで)
 10月9日 徳川美術館学芸員による展示解説
 10月20日 古文書講座前期③「米商人たちがみた武家社会」(補講)
 10月16日 れきはくゼミナール⑧
 10月22日 いしかわ歴史講座⑨
 10月24日 記念講演会「国宝 源氏物語絵巻の魅力」
 10月30日 れきはくゼミナール⑨
 11月3日 秋季特別展の展示解説(れきはくメイト会員限定)
 11月5日 秋季特別展の展示解説(れきはくメイト会員限定)
 11月6日 れきはくゼミナール⑩(中止)
 11月7日 秋季特別展の展示解説
 11月10日 古文書講座前期④「米商人たちがみた武家社会」(補講)
 11月12日 いしかわ歴史講座⑩
 11月20日 れきはくゼミナール⑪
 11月21日 ミュージアムコンサート
 11月24日 休館(～11月25日まで)
 11月26日 いしかわ歴史講座⑪
 12月15日 煙突改修工事のため臨時休館(～12月25日まで)
 12月28日 休館(～1月3日まで)／消防訓練
 1月14日 いしかわ歴史講座⑫
 1月15日 ダンス・ウェル
 1月20日 古文書講座後期①「加賀藩の魚問屋と振売商人」
 1月22日 れきはくゼミナール⑫
 1月27日 古文書講座後期②「加賀藩の魚問屋と振売商人」
 1月29日 館長講演会「利家と家康」
 2月8日 館内設備の故障のため臨時休館
 2月28日 煙突改修工事のため臨時休館(～3月9日まで)
 3月22日 休館(～3月23日まで)



春季特別展 記念講演会



夏季特別展 展示準備



秋季特別展 記念講演会



学校団体の見学



館長講演会「利家と家康」

VI. 各種書式

副館長	学芸主幹	総務課長	普及課長	受付

入 館 申 込 書

受 付
(Web申込) 年 月 日

フリガナ 団体名称			校種		
郵便番号 所在地	—				
電話番号	—	—	フリガナ 引率代表者 氏名	先生(様)	
来館日時	年	月	日	曜日	
	時	分	～	時	
入館者内訳	一般	名	料 金	一般	有料・無料
	(内、65歳以上	名)		65歳以上	有料・無料
	短・大・各種学生	名		短・大・各種学生	有料・無料
	高校生	名		その他	有料・無料
	小・中学生	名		()	
	学年・クラス数	年 クラス		引率	有料・無料
入館方法			グループ数	グループ	
バス来館	台				
雨天時対応 予備日	年	月	日	曜日	
	時	分	～	時	
体験ひろば 利用					
ワークショップ ルーム使用					
備 考					

当日記入欄	代表者名	入場者数	計	名
-------	------	------	---	---

石川県立歴史博物館特別利用許可申請書

年 月 日

石川県立歴史博物館長 様

住 所

(所在地)

申請者 氏 名

(名称及び代表者の氏名)

電話番号

下記資料の特別利用を許可して下さるよう申請します。

記

特 別 利 用 資 料 名	
利用日時	年 月 日 時 ～ 時
利用内容	
利用目的	
備 考	

備考 資料の所有権又は著作権が当館の他にあるものについては、それぞれ当該所有権者又は著作権者の許可書を添付すること。

石川県立歴史博物館 年報
第24号 令和3年度版
令和5年3月31日発行

発行 石川県立歴史博物館
〒920-0963
石川県金沢市出羽町3番1号
TEL (076)262-3236